

(案)

資料 1



あいち食育
いきいきレポート
2019



令和元年5月
愛知県
食育推進会議

はじめに

愛知県では、食育基本法に基づき、県民一人一人が食の大切さを理解して、主体的に食育に取り組むための指針として、平成28年3月に第3次愛知県食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン2020」を作成しました。

このプランで掲げた「食育の実践による健康で活力ある社会の実現」のために、知事を会長として、学識経験者、教育関係者、保育・社会福祉関係者、医療・保健関係者、農林水産業関係者、食品関連事業・企業関係者、消費者団体関係者等により構成される「愛知県食育推進会議」を中心に、県、市町村、団体、事業者などがそれぞれの役割と特性を生かし、様々な連携・協力しながら継続的な県民運動として食育活動を展開しています。

この度、プランの3年目である平成30年度に行われた県内の食育推進の取組の中から、特に①5年以上継続して行われている取組、②「あいち食育いきいきプラン2020」で新たに追加された取組、③平成30年度に新規に行われた取組、④複数の関係者が連携して行った取組をレポートとして取りまとめました。

本書が皆さんの食育活動の幅を広め、それぞれの地域にあった食育推進の一助となれば幸いです。

マークの説明



は、健康な体



は、環境に優しい暮らし



は、豊かな心



は、食育を支える取組

を表現しています。

目次

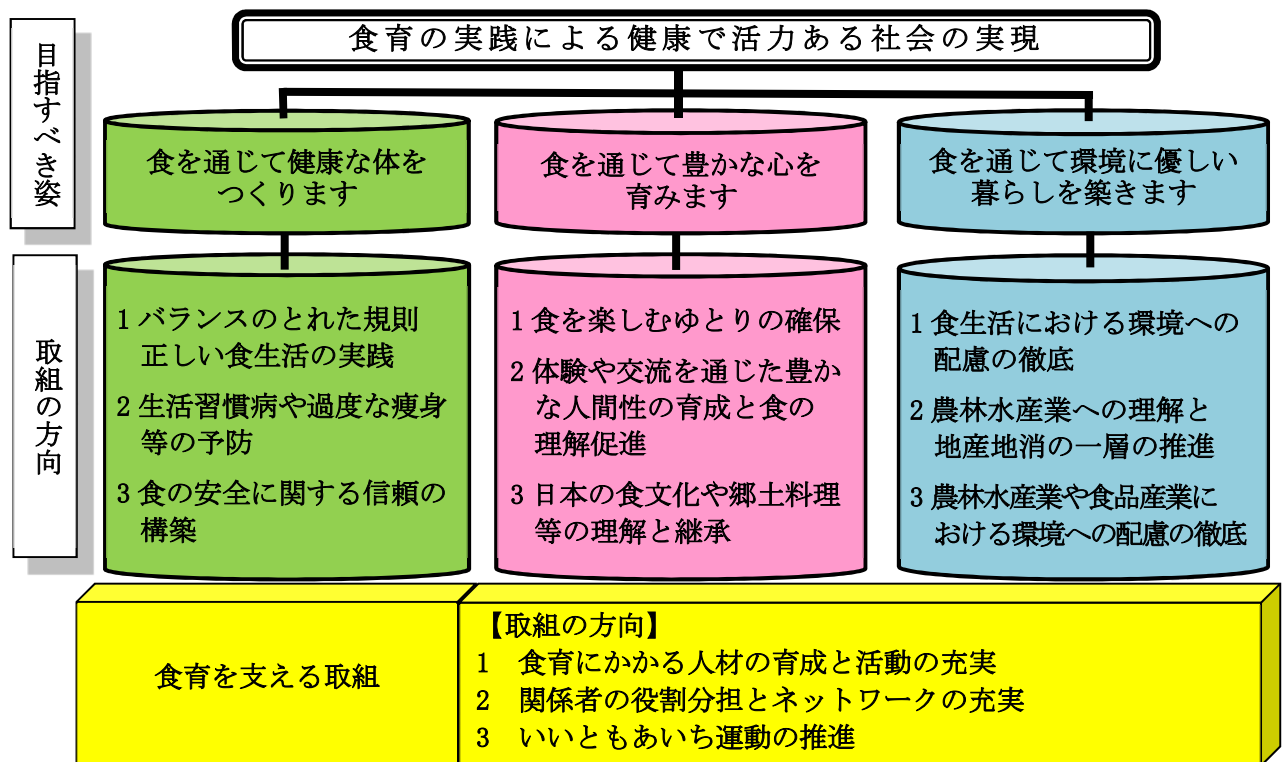
I	「あいち食育いきいきプラン 2020」について	1
II	特集 第3次愛知県食育推進計画の中間年度を迎えて	3
III	平成30年度の主な取組の状況	7
	 食を通じて健康な体をつくるために	7
	1 バランスのとれた規則正しい食生活の実践	7
	2 生活習慣病や過度な痩身等の予防	14
	3 食の安全に関する信頼の構築	16
	 食を通じて豊かな心を育むために	17
	1 食を楽しむゆとりの確保	17
	2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進	19
	3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承	27
	 食を通じて環境に優しい暮らしを築くために	31
	1 食生活における環境への配慮の徹底	31
	2 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進	33
	3 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	35
	 食育を支える取組	36
	1 食育にかかる人材の育成と活動の充実	36
	2 関係者の役割分担とネットワークの充実	38
	3 いいともあいち運動の推進	39
IV	県や関係団体の取組一覧	40
V	食育推進に関する問合せ先	53

I 「あいち食育いきいきプラン 2020」について

「あいち食育いきいきプラン 2020」（第3次愛知県食育推進計画）は、食育基本法に基づき、愛知県食育推進会議が第1次食育推進計画「あいち食育いきいきプラン」及び第2次食育推進計画「あいち食育いきいきプラン 2015」の基本理念や成果を継承しつつ、更に食育を推進するために平成28年3月に作成したものです。

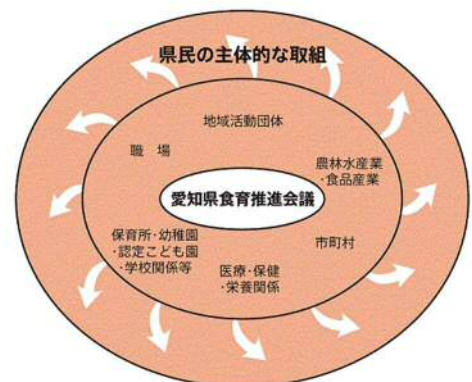
1 目指すべき姿と基本コンセプト

- このプランでは、前プランからの本県の特色である「体」、「心」、「環境」に着目した食育を継承することにより、健康で活力ある社会の実現を目指しています。
- 規則正しい食生活の実践などにより「健康な体をつくる」ことはもとより、感謝の気持ちや食を大切に作る心といった「豊かな心を育む」こと、地産地消の推進や食品の廃棄量を減らすなどの「環境に優しい暮らしを築く」ことを基本としています。



2 取組の特徴

- あらゆる世代の県民が健全な食生活を送り、心身ともに健康で豊かに暮らすためには、生涯を通じた間断のない食育が重要です。
このため、乳幼児から高齢者に至るまで、ライフステージと生活場面に応じた切れ目のない食育を進めています。
- また、食育に関する取組の実効性を高めるため、多様な関係者が、その役割と特性を生かしつつ、密接に連携・協力して、県民運動として食育を展開しています。



3 県や関係団体等の取組

食育の推進について、県や関係団体等は、あいちの食育が目指す3つの方向に則して、ライフステージと生活場面に応じ、それぞれの役割と特性を生かしつつ連携・協力して、継続的に情報提供や実践促進活動を行っています。

以下では、取組を働きかける生活場面を下記のとおりに表示

保幼 保育所・幼稚園 職場 勤務先
学校 小学校～大学 地域 その他の場所

■ 取組の体系

目指すべき姿に向けての取組	取組の体系	取組内容	生活場面			
			保幼	学校	職場	地域
食を通して健康な体をつくるために	バランスのとれた規則正しい食生活の実践	ア 乳幼児期における基本的な食習慣の確立	●			●
		イ 学校における小中学生への食に関する指導のさらなる充実		●		
		ウ 小中学生の食育のための家庭への支援		●		●
	生活習慣病や過度な痩身等の予防	エ 高校における食育の充実		●		
		オ 青年期以降の若い世代を中心とした食育の推進		●	●	●
		カ 妊産婦や乳幼児を持つ親への食育の推進				●
		キ 高齢期における食による健康維持の推進				●
		ク 野菜摂取量を増やす取組の推進				●
		ア 子どもの肥満予防等の推進	●	●		
食の安全に関する信頼の構築	イ 歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進	●	●			
	ウ 思春期からの過度な痩身の予防対策		●			
	エ 職場での健康診断等に基づく食生活改善のさらなる推進			●	●	
食を楽しむゆとりの確保	オ 地域における健康づくりの推進				●	
	ア 食品表示の適正化の推進				●	
	イ 食の安全に関する情報提供や意見交換		●		●	
	ウ 安全に関する自主管理と情報開示の促進				●	
	エ 食品と医薬品との相互作用等に対する普及啓発				●	
	オ 学校給食等における食物アレルギーへの対応	●	●			
	食を通して豊かな心を育むために	ア 給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成	●	●		
		イ 家族や友人と食事をとるための環境整備			●	●
		ウ 高齢者の孤食対策等				●
食生活における環境への配慮の徹底	ア 乳幼児期における食とのふれあい機会の確保	●			●	
	イ 少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実		●		●	
	ウ 幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供				●	
農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底	ア 子どもに対する食事作法の習得	●	●		●	
	イ 給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進	●	●	●	●	
	ウ 日本型食生活の推進、郷土料理等地域の食文化の継承				●	
	ア 子どもに対する環境学習の推進		●			
	イ 環境に配慮した食料品等の購入やリサイクル等の実践				●	
	ウ 環境に配慮した食生活の実践				●	
食を通して環境に優しい暮らしを築くために	ア 農林水産業への関心と理解を深める取組の推進		●		●	
	イ 子どもに対する地産地消の理解と利用の促進		●			
	ウ 青年期以降における地産地消の実践		●	●	●	
食育を支える取組	食生活における環境への配慮の徹底	エ 直売所における生産者と消費者の交流				●
		ア 農林水産業における環境への配慮とバイオマスの利活用				●
		イ 食品関連事業者における食品廃棄物等の削減				●
	食育にかかる人材の育成と活動の充実	ウ フードバンク活動の普及啓発				●
		ア 保育・教育機関における推進体制の充実	●	●		
		イ 社会人を対象とした推進体制の充実			●	●
	関係者の役割分担とネットワークの充実	ウ 愛知県食育推進ボランティアの育成と活動の充実				●
		エ 食育に係る多様な人材の育成と活動の促進				●
		オ 食育推進資料の作成や調査の実施				●
いいともあいち運動の推進	ア 活動主体同士の情報共有と連携の強化		●		●	
	イ 既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有				●	
	ウ 食育に関する情報発信の充実				●	
	ア 運動の定着促進				●	
	イ 協働活動の充実				●	
	ウ 県産農林水産物の利用拡大				●	

Ⅱ 特集 第3次愛知県食育推進計画の中間年度を迎えて

1 はじめに

「あいち食育いきいきプラン2020」（以下「プラン2020」という。）は、平成28年度（2016年度）から令和2年度（2020年度）までを計画期間としています。

平成30年度は計画の中間年度であり、計画の達成に向けて県内各地域で様々な取組が行われました。

ここでは、その中からプラン2020で重点的に取り組んでいくとした4項目（①野菜摂取量を増やす取組、②若い世代に対する啓発、③学校給食等における食物アレルギーへの対応、④郷土料理等地域の食文化の保護・継承）について、御紹介します。

なお、計画の最終年度である令和2年（2020年）6月には、中部国際空港島にある「愛知県国際展示場」において「第15回食育推進全国大会」が開催されます。計画の集大成として各団体が展示・講演・体験等様々な催し物を開催するこの大会に是非御参加ください。

また、この大会を契機に、次期計画でも本県の食育の目標である「健康で活力ある社会の実現」に向け、各団体が密接に連携・協力して取り組んでまいりますので、御理解・御協力いただきますようお願いいたします。

地域における食育活動の表彰について

農林水産省が実施する「第3回食育活動表彰」において、大府市健康づくり食育推進協議会が消費・安全局長賞を受賞しました。表彰式は山梨県甲府市で開催される「第14回食育推進全国大会」内で行われる予定です。

なお、本県で行われる「第15回食育推進全国大会」においても、同様に表彰が行われる予定ですので、是非積極的に御応募ください。

ボランティア部門 消費・安全局長賞

大府市健康づくり食育推進協議会

～もっと野菜を食べよう！『うまベジレシピ』の開発・普及と『朝ベジファースト』を普及・啓発する食育活動～

◆活動内容

平成24年国民健康・栄養調査で愛知県が野菜摂取量ワースト1となったことを受け、野菜摂取量向上に向けた取組を行っています。

会員が考案し試作・改良を重ねたレシピを料理研究家の宮本和秀氏が監修し、20点の健康レシピ「うまベジレシピ」を作成しました。レシピは料理教室「うまベジクッキング」等により普及を図っています。

また、野菜摂取量向上をテーマに、小学生向け「わくわくクッキング」を開催し、包丁の持ち方や野菜の切り方など基礎から伝え楽しく実習しながらバランスの良い食事を体験してもらっています。

さらに、朝食で野菜を食べることが野菜不足改善のカギであると考え、「朝ベジファースト」を普及・啓発しています。「朝ベジファースト」を盛り込んだ健康寸劇を上演し、市民に楽しく学んでいただいています。寸劇では協議会の活動内容も取り入れ、料理教室等のPRも行っています。



2 プラン 2020 での重点項目に対する取組事例（平成 30 年度）

プラン 2020 での主な新規・変更項目

- (1) 野菜摂取量を増やす取組
- (2) 若い世代に対する啓発
- (3) 学校給食等における食物アレルギーへの対応
- (4) 郷土料理等地域の食文化の保護・継承

(1) 野菜摂取量を増やす取組



あいち食育いきいきシンポジウム、野菜の摂取量向上のための調理講習会の開催

愛知県食育消費流通課

毎日の食生活に欠くことのできない食材である野菜について、もっと身近に感じ、摂取の必要性和県産農産物に対する県民意識を高めるきっかけとするため、シンポジウム及び調理講習会を開催しました。

シンポジウムでは、まず、恵泉女学園大学の藤田智教授から、野菜の素晴らしさ、野菜作りを通じた心、交流の在り方などについての基調講演をいただきました。

次に、愛知学院大学の酒井映子教授から栄養学の見地から健康的な食生活について、多くのデータを用いて分かりやすく講演いただきました。



その後、事例発表として、愛知県農業協同組合中央会からは、地域に根ざした食と農の大切さを伝える J A グループの様々な取組について、田原市からは、地元農産物を家庭でおいしく食べてもらうために、地域の食育組織と協働して作成したレシピについて発表いただきました。

当日は、県民を始め関係者 172 名の参加があり、「野菜を作ること、食べることの良さが改めて分かった」、「今後の活動に役立てたい」との声が聞かれました。



調理講習会では、公益社団法人愛知県栄養士会（以下「栄養士会」）所属の管理栄養士である竹内和子氏らを講師に迎え、1 日の目標摂取量である 350g の野菜が摂れる 4 品の料理（「豆腐ハンバーグ」、「袋で作る簡単蒸し野菜」、「生姜のトロトロスープ」、「じゃが芋のチヂミ」）の実習を行い、普段の食生活の中に野菜を手軽に取り入れられる調理方法などについて学んでいただきました。

その後、栄養士会の渡邊薫氏から、「健康を守る食生活と野菜」と題し、健康面からの野菜摂取の必要性和バランスの良い食事の大切さについて講話をいただきました。

当日は 58 名（2 回合計）の参加があり、「簡単に沢山の野菜を食べるレシピでよかった。」、「野菜の食べ方で注意するポイントがよくわかった。」などの声が聞かれました。また、終了後のアンケートでは、95%の方から「参考になった」と回答がありました。

それぞれで学んでいただいた内容が、参加者を中心に家庭や地域において多くの県民に伝わり、毎日の食生活で実践され、本県食育の目指す「健康で活力のある社会の実現」につながることを期待します。

(2) 若い世代に対する啓発



ベジタブル&トレーニングとよたプラス 10(じゅう)

豊田市

健康づくり豊田 21 計画（第三次）の重点事業の一つである「ベジタブル&トレーニングとよたプラス 10(じゅう)」は、野菜摂取と運動を日常生活に取り入れ、「普段よりあと 10 口(くち)分（小鉢一皿分）の野菜を食べよう」、「普段よりあと 10 分多く体を動かそう」など「プラス 10(じゅう)」を合言葉にした取組です。



「健康に関する市民生活実態調査」結果から、生活習慣病予防を目的に、特に若い世代や働き世代に対して今よりも野菜摂取量増加と運動習慣の定着を図る必要があると考え、啓発イベントや市内事業所での健康づくり教室を実施しました。



松坂屋豊田店、豊田生活協同組合で行われたイベントでは、参加者からは、「野菜は食べているつもりだが、もっと食べないといけないと思った。」「運動不足を感じた。」という声が聞かれ、普段の自身の生活を振り返ることのできる良い機会となりました。

今後は、取組が習慣づけられるように内容の充実を図っていきたいと考えています。

(3) 学校給食等における食物アレルギーへの対応



乳と卵の除去食の提供

岩倉市

岩倉市では全ての児童生徒が給食時間を安全に、かつ、楽しんで過ごせるようにするため、国の「学校給食における食物アレルギー対応指針」や県の「学校給食における食物アレルギー対応の手引」に基づき食物アレルギー対応検討委員会を設置し、平成 29 年 2 月に岩倉市の「学校における食物アレルギー対応の手引」を作成しました。



これまでアレルギー対応としては、飲用牛乳の提供中止・返金と詳細献立表の配布について行っていましたが、平成 29 年 9 月より食物アレ



ルギーの中でも対象者が多い、「乳と卵」の除去食の提供を開始しました。

今後は、他の食物アレルギーについて、対応が必要な食数や保護者の要望をふまえながら、新たなアレルギー食対応についての検討をする必要があると考えています。

(4) 郷土料理等地域の食文化の保護・継承



子育て世代「うどんづくりに挑戦！」

西尾市、農村輝きネット・あいち



西尾市では、食育推進事業として毎年、うどん打ち、おせち料理、恵方巻きなどテーマを決めて料理教室を実施しています。

平成30年度は、普段自宅から出られない若い世代に、楽しく、安心して食育を学ぶ場を提供するため、託児付きの講座として、若いお母さんを対象に、愛知県産の小麦である「きぬあかり」を使ったうどんづくり教室を実施しました。

当日は農村輝きネット・あいちの会員である西尾市生活改善実行グループ連絡研究会の指導の下、11組の親子計15名が参加されました。

教室ではうどんの他にも郷土料理である鬼まんじゅうや野菜の天ぷら、冬瓜の煮物を作りました。

普段何気なく食べているうどんがどのようにできているか、体験を通して参加者の方に学んでいただきました。また、地元の農産物を数多く使用したことで、地産地消についても学んでいただくことができました。



参加者からは「生産者や他の参加者との交流が楽しく、手軽に作ることができたので、自宅でも作るきっかけとなった。」との声が聞かれました。

今回、子育て世代が参加しやすいよう託児付きで開催した結果、10名の方に利用いただきました。このような託児付きの料理教室をもっと実施してほしいという意見が多く寄せられたため、今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



Ⅲ 平成 30 年度の主な取組の状況



食を通じて健康な体をつくるために

乳幼児期から高齢期にいたるまで、ライフステージに応じた「バランスのとれた規則正しい食生活の実践」、子供の肥満予防や思春期からの過度な痩身の予防、職場等での健康指導など「生活習慣病や過度な痩身等の予防」及び「食の安全に関する信頼の構築」に取り組みました。

1 バランスのとれた規則正しい食生活の実践

保育園での食育講話	
北名古屋市保健センター	
●実施時期：平成 30 年 7 月～ 8 月	●対象者：保育園の園児及び保護者
<p>●内容</p> <p>幼児期における望ましい食生活の形成を目的に、子どもにわかりやすい媒体等を使用した食育講話を実施しています。</p> <p>平成 30 年度は、「3色のたべものとはたらき」をテーマにペープサートで学んだあと、復習になる歌詞の替え歌を歌いました。</p> <p>講話後も各クラスで復習できるよう、ポスターの掲示や歌を歌っていただき、より理解を深めることができました。</p> <p>保護者向けの講話では、「こどもがすくすく育つバランス食」をテーマにお話しし、手軽にできる朝ごはんの工夫なども紹介しました。</p>	
<p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>園児向けの講話では、保育士の先生のご協力もあり、子どもたちが楽しめる内容にできました。また、幼児組だけでなく、園によっては乳児組の子どもたちも一緒に参加してくれました。</p> <p>平日の開催ということもあり、保護者の方の参加が少ないのが課題となっています。</p>	
〈取組項目：乳幼児期における基本的な食習慣の確立〉	〈取組場面：地域〉



学級訪問栄養士指導

東郷町給食センター

●実施時期：平成30年10月～平成31年2月 ●対象者：中学生

●内容

栄養教諭と養護教諭が、学年ごとにテーマを決め、栄養指導を実施しています。

1年生へは「カルシウム」、2年生へは「朝食」3年生へは「お弁当作り」とその学年に合わせた内容とし、その大切さや必要性などを学ばせ、将来を見据えた食教育を実施しています。

いずれも学校給食を例にとり、より具体的で身近な話題にすることにより、自分で選択して食べるという力を身に付けさせるよう働きかけました。

●活動の成果、今後の課題

生徒からは、「給食で取れない残り半分のカルシウムを家で頑張って取ろうと思う」や「朝食は必ず食べようと思った」、「卒業したら給食がないので、自分で気を付けていかなければならないと思った」などの感想が聞かれました。

年に1度ではありますが、継続した指導ができていますので、これからも続けていきたいです。

〈取組項目：学校における小中学生への食に関する指導のさらなる充実〉

〈取組場面：学校〉

朝ごはん50日チャレンジ

蒲郡市、市内小中学校

●実施時期：平成30年11月1日～12月20日 ●対象者：市内小中学生

●内容

朝食を食べることが子どもたちにとっての健康づくりの1つの方法であると考え、「朝ごはんチャレンジ」を実施しています。

学校にチャレンジシートを配布し、朝ごはんを食べた日に色塗りを実施してもらいました。また、「朝ごはんチャレンジ通信」を各家庭に配布し、朝食の大切さを保護者にも知ってもらうようにしました。

●活動の成果、今後の課題

参加人数：小学生4105名 中学生2124名

回収率：小学校97.5% 中学校94.4%

達成率：小学生86.0% 中学生：88.5%

小中学生の感想では、「100日間朝ごはんを食べて、全部塗ったら達成感があった」、「朝ごはんを食べると午前中調子よく過ごすことができた」という意見がありました。

学校からは「市内統一で行ったことで全体の傾向が分かった」、「学校で朝実施することで職員への波及効果があったように感じる」と意見がありました。

今後も時期ややり方を学校と相談しながら実施していきたいです

〈取組項目：小中学生の食育のための家庭への支援〉

〈取組場面：地域〉

「簡単！野菜たっぷり！栄養朝ごはん」メニューコンテスト

尾張旭市

●実施時期：平成30年11月～平成31年1月

●対象者：小中学校及び一般

●内容

朝食の欠食や孤食を防ぎ、朝食の大切さを再確認し、家族で一緒に食事をするきっかけとなるように「簡単！野菜たっぷり！栄養朝ごはん」というタイトルで、市内小学校、中学校、一般から朝食のメニューを募集しました。

栄養バランス、今回は特に野菜の摂取を考えて、作りやすく簡単に組み立てる工夫をこらしたメニュー102件の応募がありました。

家族からのアドバイスや感想もあり、家族でのコミュニケーションを図るきっかけともなりました。

●活動の成果、今後の課題

野菜をたくさん取り入れて彩のよい栄養たっぷりの朝食メニューを考案してくれました。簡単に作る工夫もされていて、料理のアイデアや、感想を家族で話合う様子が伺えました。

小中学生からの応募がほとんどであったため、一般の方の募集が増えるように、周知方法の見直しや参加意欲を高めるような仕組みを考えていくことが今後の課題です。

〈取組項目：小中学生の食育のための家庭への支援〉

〈取組場面：地域〉

高等学校職員、保護者会向け栄養改善調理実習の開催

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

●実施時期：平成30年8月3日

●対象者：高校教員、保護者会参加者（希望者）

●内容

高校教員、保護者を対象とし、生徒や子どもに必要な食事量と栄養を知ることが目的に、調理実習、講義を行いました。特に高校生女子が不足しがちな栄養素である、カルシウム・鉄分に着目し、普段の食事に活用ができるよう手軽な栄養アップ方法、吸収が良くなる食べ合わせなどを提案しました。

健康日本21（第2次）の目標でもある20歳代女性のやせの減少も意識し、愛知県研究開発事業で作成したリーフレットを活用しながら、普段の生活に生かせると感じていただけるよう動機付けを行いました。

●活動の成果、今後の課題

教室後参加者より、「普段の生活に活用できそう」「家でもう一度作りたい」などの声をいただきました。

今後の課題は、参加しなかった保護者にも今回の内容を知っていただけるように、養護教諭との連携を取り広げていくことと考えています。

〈取組項目：高校における食育の充実〉

〈取組場面：学校〉



働く世代のための生活習慣病予防料理教室

愛知県食生活改善推進員連絡協議会（豊橋市食生活改善協議会）

●実施時期：平成30年9月20日

●対象者：豊橋市内企業役員・従業員

●内容

生活習慣病予防のためには規則正しい生活習慣と食生活の大切であることを踏まえ、「朝食の大切さ」、「1日の野菜摂取量」、「減塩の工夫」について冊子や調理実習を通して伝えました。

また、仕事をしている人（女性）が帰宅後に食事の準備するにあたり、簡単で時短、美味しく野菜たっぷり、栄養豊富、添加物不使用の缶詰（鯖缶）メニューを実習しました。



●活動の成果、今後の課題

鯖缶の利用や野菜たっぷりメニューは美味しいと好評で、特に時短料理に関心が寄せられました。また、減塩については実際に作った汁物で試飲や測定をしたので実感できたと思います。

ただ、今回の対象の企業は食に関心があり、時間をいただくことができましたが、就業時間内での調理実習はなかなか難しいと感じました。



〈取組項目：青年期以降の若い世代を中心とした食育の推進〉

〈取組場面：職場〉

妊産婦栄養教室だし活のすすめ～おうちで和食～

尾張旭市

●実施時期：平成30年6月15日、9月13日

●対象者：市内在住の妊娠中・子育て中の方

●内容

「だし」を通して簡単な和食を学ぶことで、若い世代への減塩対策など健康的な食生活を送るための知識普及、参加者同士の仲間づくりを支援し、妊娠中のかたは、離乳食がスムーズに開始できるよう理解を深めていただくため、教室を開催しました。



●活動の成果、今後の課題

【参加者】6月15日（14名）、9月13日（11名）

参加者からは、「参考になった」「離乳食に役立てたい」「手間無くだしをとれることが分かって良かった」などの意見が聞かれました。

周知方法によって応募人数に差があったため、来年度の周知方法については今後検討していきます。



〈取組項目：妊産婦や乳幼児を持つ親への食育の推進〉

〈取組場面：地域〉

男性のための栄養教室

刈谷市

●実施時期：平成30年7月～8月、11月～12月 ●対象者：市内在住の65～69歳男性

●内容

高齢社会を迎え、65歳以上の夫婦二世帯や一人暮らしの世帯が増加しています。介護予防の観点のもと、栄養バランスや調理の基本を身につけ、日常生活における自立を促すとともに、参加者同士の交流を深めて閉じこもりを予防することを目的に教室を開催しました。

食材の切り方、調味料の計量、「健康日本21かりや計画」、野菜の摂取、栄養バランス（3色食品群）についての講義及び調理実習を行いました。

●活動の成果、今後の課題

参加者からは「料理に興味を持つことができた」「味付けを薄くすることを心がけるようになった」などの意見が多くあり、参加者の8割が「教室に参加して以前よりも食事の量や内容が気になるようになった」と回答するなど、事業の目的を達成することができました。

今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



〈取組項目：高齢期における食による健康維持の推進〉

〈取組場面：地域〉

野菜をもりもり食べよう。パワフルサラダ作り

あいち食育サポート企業団

●実施時期：平成30年4月21日 ●対象者：小学生以下の子どもとその親

●内容

バランスの良いお食事と1日の野菜摂取目安量を伝え、食べることの大切さの啓蒙を目的として、リーフウォーク稲沢店にて、ユニー(株)食育イベントを実施しました。

親子で、簡単野菜サラダ作り（小鉢1皿 70g分）をしてもらいました。

オリジナルの「3色食品群ランチョンマット」を使用し、当日使用した食材を、3色の当てはまる箇所においてもらい、3色全て揃う食べ方がバランスの良い食事であることを伝えました。また、茹でる前・後のホウレン草を見せ、同じ量でも嵩が減ることで、食べやすくなることを実感していただき、1日野菜摂取目安量350g以上のアピールに努めました。

●活動の成果、今後の課題

「実際に野菜350gはどれくらいなのか秤ってもらったり、食べ方の提案を学べて良かったです。」とお言葉を頂けました。

今後も、毎日の健康的な食生活実現のため、食育活動を継続して参ります。



〈取組項目：野菜の摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

野菜を食べようプロジェクト「野菜たっぷり！！ヘルシーメニュー」

知多市

●実施時期：通年

●対象者：市民

●内容

外食でもしっかり野菜がとれる環境をつくり、市民の健康に対する意識の向上と野菜摂取量の増加を目指して、市内飲食店にご協力いただき、野菜量、エネルギー、塩分量の基準にあうヘルシーメニューを認定する取り組みを、平成 27 年度から実施しています。

平成 31 年 2 月 1 日から 3 月 17 日まで、市商工会主催でヘルシーメニューを対象とした「みんなで健康スタンプラリー」を開催しており、ヘルシーメニューの周知を図っています。

●活動の成果、今後の課題

今年度で 17 店舗 20 メニューがヘルシーメニューとして認定され、現在各店舗で提供されています。今後も店舗・メニュー数の拡大と、ヘルシーメニューの周知を図る予定です。店舗・メニュー数の拡大に伴い、提供店舗へのフォローアップが課題となっています。



〈取組項目：野菜の摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

こどもクッキング いちのみや

一宮市

●実施時期：平成 30 年 8 月 23 日・8 月 31 日

●対象者：一宮市在住の小学生

●内容

健康日本 2 1 いちのみや計画における食育推進事業として、野菜の摂取量向上の啓発を目的に、市内在住の小学生を対象とした調理実習を開催しました。(参加小学生：47 名)

修文女子高等学校の生徒たちが講師となり、市が支援する食育推進団体が調理補助を行いました。

また、地産の野菜やお米は、愛知西農業協同組合より協賛していただきました。

●活動の成果、今後の課題

「食」を通じて、子どもから大人、企業、ボランティア団体が繋がる事業となりました。

今後も同様の取り組みを継続していきたいと考えています。



〈取組項目：野菜の摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

せといきいき健康グルメ

瀬戸市

●実施時期：平成 30 年 10 月 1 日

●対象者：市民等

●内容

第 2 次いきいき瀬戸 21（第 2 次健康日本 21 瀬戸市計画）推進のため、バランスが良く、減塩で野菜がしっかり摂れる健康メニューを市民に提供することを目的に実施しました。

- 認定基準 ① エネルギー量：700 kcal 以下 ② 塩分：3.5 g 未満
③ 野菜の使用量：120 g 以上
④ 主食・主菜・副菜がそろっていること
⑤ めたぼうし健康茶碗を使用（利用可能なメニューの場合）

●活動の成果、今後の課題

平成 30 年 12 月末時点で、利用者数は 333 名（男女比 4：6）で、利用者アンケートを実施ところ 79%の方から「提供メニューが普段の食事の参考になった」との回答がありました。

今後の課題としては、店舗数の拡大や、子どもから高齢者までより多くの方が利用しやすいメニューづくりの提案などを考えています。



〈取組項目：野菜の摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

野菜ってすごい！

大口町

●実施時期：平成 30 年 11 月 3 日

●対象者：町民等

●内容

「健康まつり」にて野菜摂取量向上をテーマとしたコーナーを設け、350 g の野菜の展示や、350 g の野菜を摂るために必要な副菜の量が具体的に分かるように料理カードを用いたゲームを実施しました。

あわせて野菜を使ったレシピの配布を行い、家庭でも野菜料理を作れるきっかけになるように啓発しました。

●活動の成果、今後の課題

実際に 350 g の野菜を見た方は、「意外と少ない」「これなら食べられそう」といった声が聞かれました。また、料理カードを選ぶゲームでは、実際に必要な副菜の量について知っていただけの様子でした。

事後アンケートから、朝に野菜を食べている方が少なく、野菜の調理方法がわからないといった意見があったことから、時間のない朝でも手軽に食べられる野菜のレシピや知識等の普及が必要と考えています。



〈取組項目：野菜の摂取量を増やす取組の推進〉

〈取組場面：地域〉

2 生活習慣病や過度な痩身等の予防

「歯の健康についての講演会」「年中児ブラッシング指導」

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（半田市立乙川幼稚園）

●実施時期：平成 30 年 11 月 29 日

●対象者：幼稚園児とその保護者

●内容

本園の 4 歳児（52 名）とその保護者を対象に、幼稚園の歯科医による歯科指導を実施しました。まず園児向けにペーパーサートを使用した虫歯予防についての講話がありました。その後、親子で染め出しとブラッシングを行い、歯科医・歯科衛生士より個別指導を受けました。最後は保護者に「虫歯予防のための食習慣の見直しについて」の講話を行いました。



●活動の成果、今後の課題

歯科医からの講話や個別に磨き方の指導を受けたことは、保護者から分かりやすく役に立ったという感想を得ることができました。ペーパーサートを使用したことも園児には分かりやすく効果がありました。親子で歯磨きに対する意識をもち、実践しようとする意欲がもてたと思います。今後、この成果が継続するように、園児への指導と保護者への啓発をしていきたいと思ひます。



〈取組項目：歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進〉

〈取組場面：保幼〉

第 8 回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト

一般社団法人愛知県歯科医師会

●実施時期：平成 30 年 5 月 7 日～7 月 30 日（募集期間）、平成 30 年 11 月 18 日（表彰式）

●対象者：県内在住もしくは在勤、在学の者

●内容

生涯おいしく楽しく食べるためには、歯や口が健康でよく噛みながら食べることが重要です。

このため、愛知県歯科医師会では、栄養バランスを考慮した「よく噛んで食べるように工夫を凝らしたオリジナルレシピ」作品を募集し、広く県民に発信・普及することで「8020 健康長寿社会」を目指しています。

●活動の成果、今後の課題

当初は会員の歯科医院からの発信で始まりましたが、現在は連携する組織から周知が出来るようになり、応募数は年々増加傾向にあります。

応募部門は「キッズレシピ」「地産地消～地元を食べよう～」「高齢者向け」の 3 部門とし、以前は女子の応募が多かったのですが、年々男子の応募数も目立つようになってきました。「歯科と食育の関連」を広く発信出来るよう検討し、今後も開催していく予定です。



〈取組項目：歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進〉

〈取組場面：学校〉

E 6 保護事業

碧南市社会福祉協議会棚尾保育園、碧南市歯科医師会

●実施時期：平成 30 年 11 月 1 日

●対象者：3～5歳の園児

●内容

日々の保育の中で視聴覚教材を使って歯の大切さを伝えたり、食後の歯磨き・うがい等を援助したりしながら、虫歯予防の指導をしています。また、幼い乳幼児期の子ども達にとっては、保護者の理解や協力が欠かせないと考えています。子ども達は歯科衛生士の方から歯について聞いたり、正しい歯の磨き方を教えてもらったりしました。また親子で染出しをし、お子さんの歯磨きの状況を確認してもらいました。その後、保護者は歯科医の講演会、子ども達はフッ素塗布を受けました。



●活動の成果、今後の課題

歯親子で染出しをおこなうことで、「ここが磨けてないね」「仕上げ磨きをしっかりしなきゃね」などの親子の会話が聞かれました。年長児は6歳臼歯について話をきいたことで永久歯の大切さが分かり、給食後に奥歯を意識して歯磨きをしっかりする姿が見られるようになりました。



〈取組項目：歯の大切さについての子どもへの啓発活動の推進〉

〈取組場面：保幼〉

あいち県民健康祭「なんでも栄養相談－骨密度測定」

公益社団法人愛知県栄養士会

●実施時期：平成 30 年 9 月 15 日、16 日

●対象者：県民

●内容

本事業は、骨密度や握力の測定が健康測定値に成り得ることの理解が深まること、測定値を高めるために個人にあった食生活のポイントは何かを把握できることを目的としています。

事業内容は①骨密度・握力の測定、②結果数値が身体機能にとってどんな状態を表すのかの説明、③日常の食生活について聞きとり、④個人に合ったより良い食生活についてアドバイス、と進めています。

また、要望があれば様々な疾病に関する基本的な食事のアドバイスも行っています。

●活動の成果、今後の課題

2日間合計で、296名の方の栄養相談を行いました。また、330名の方が骨密度測定を、334名の方が握力測定を実施しました。

参加者からは「毎年この測定を目的に来ている」との声が聞かれ、継続していくことが重要であると考えています。



今後も継続していきたいです。



〈取組項目：地域における健康づくりの推進〉

〈取組場面：地域〉

3 食の安全に関する信頼の構築

現地見学型リスクコミュニケーション	
愛知県生活衛生課	
●実施時期：平成 30 年 8 月 8 日、27 日	●対象者：県内在住の親子
<p>●内容</p> <p>生活衛生課では食の安全に関する正しい知識を深めてもらうため、県内の製造工場に御協力いただき、親子参加型の工場見学を実施しています。</p> <p>今年は、マヨネーズ及び餃子の皮の製造工程等を見学し、安全な食品を製造するための取組について学習しました。</p> <p>また、食品の衛生管理の手法である HACCP についても学ぶとともに、手洗いの方法について体験しました。実際に手を洗い、洗い残しの有無について手洗いチェッカーを用いて確認しました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>実際に製造現場を、見学することで食に対する知識や理解を深めることができました。HACCP については難しかったものの、クイズに積極的に参加する子どもたちの姿が見られました。</p> <p>また、手洗い後のチェックを実際に体験し、楽しく学ぶことができました。</p>	 
〈取組項目：食の安全に関する情報提供や意見交換〉	〈取組場面：地域〉

職員研修（調理員研修、アレルギー研修、歯科衛生士による研修）	
春日井市	
●実施時期：平成 30 年 5 月～平成 31 年 2 月	●対象者：園長、主任保育士、保育士、調理員
<p>●内容</p> <p>子どもを対象にした食育指導は各保育園で行われていますが、保育士及び調理員が知識の習得及び保育の質の向上と保育中の安全管理に対する正しい知識を学び、子どもたちの食の安全を守るために、専門家による研修を行うことが必要であることから実施しています。</p> <p>特にアレルギー研修は、小児の食物アレルギー専門医に依頼し、春日井市の実情に合わせた講義を行っていただいています。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>アレルギー対応児の誤食が激減するという効果が表れ、誤食事故防止に大いに役立っています。正しい知識を習得することにより、正しい対応が可能になってきました。また、保護者への働きかけにも役立っており、間違った知識による曖昧な対応が確実に減りました。今後もこれらの研修を継続していくことで安心安全な食を提供できると考えます。</p>	
〈取組項目：学校給食等における食物アレルギーへの対応〉	〈取組場面：保幼〉



食を通じて豊かな心を育むために

家族や友人と楽しみながら食事をとることや、様々な農作業体験、調理実習といった体験や交流を通じて豊かな人間性の育成と食の理解促進を図るとともに、地域に伝わる郷土料理、食事作法等を継承するための取組を行いました。

1 食を楽しむゆとりの確保

親子でおいしく食べて、楽しく語ろう

愛知県国公立幼稚園・こども園長会（名古屋市立鳴子幼稚園）

●実施時期：通年

●対象者：保護者及び園児

●内容

講師を招いて「おいしく楽しく健活セミナー」を実施し、カカオの生産や歴史、栄養と健康にまつわる話を聞き、チョコレートの栄養価やおやつへの上手な活用の仕方など学び、関心を深めました。2学期には、親子でおにぎり会食を実施し、食に関する絵本や歌、クイズなどのレクリエーションを行いました。保護者の座談会では弁当作りの工夫や親子でできるおやつ作りなどの情報交換をしたり、食に関する悩みを話し合ったりしました。弁当作りの参考になるよう簡単弁当レシピをPTA広報誌に掲載しました。



●活動の成果、今後の課題

食育について楽しく学ぶ機会になりました。親子で会食をしたり、保護者が楽しく語り合いながら学んだりすることで、食育について考えてみようとする意欲につながりました。園生活でも、食育に関心をもてるような活動を引き続き大切にしていきたいと思えます。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

人参を取り入れた給食とおやつ

碧南市立羽久手保育園

●実施時期：1月

●対象者：2～5歳児

●内容

碧南市の特産物である人参を使った人参きんぴらご飯や人参ドーナツを給食やおやつに取り入れ、人参が碧南市でたくさん栽培されていることや身体を病気から守る役目があることを知らせました。

●活動の成果、今後の課題

子ども達は、親しみのある人参の給食を楽しみにしていて、匂いをかいだり、触ってみたりしていました。4歳児は実際にもぎとり体験で人参掘りにいく為、より興味を持って食べていました。

〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

給食献立の展示

春日井市青少年子ども部保育課桃山保育園

●実施時期：通年

●対象者：保護者及び園児

●内容

近年、家庭における食の問題が指摘されるようになり、親子で食べ物について関心を持ち、基本的な食習慣を身につけて欲しいと考え、献立ボードを設置するとしました。通園時に園児と保護者が通る所にボードを設置し、その日の給食の献立を写真で紹介しました。



●活動の成果、今後の課題

園児も保護者もほとんどの方が毎日ボードを見ています。ボードを見ながら、「これ食べたの?」「おいしかった」等の会話が聞かれ、食について共通の話題が親子でされているように感じます。今後は食物の働きや食と体の関係にも興味を持てる取り組みをしていきたいと考えています。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

給食を家庭に繋げ、食育改善！

東郷町立音貝保育園

●実施時期：通年

●対象者：保護者及び園児

●内容

げんきっずのキャラクターや食材の絵をマグネットボードに貼り、保育園の給食メニューの紹介をしていました。しかし、イメージがでない保護者もあり、給食は食べるのに家では野菜やおかずを食べてくれないと、悩む保護者も多くいました。そこで、保育園の給食を参考に、子どもの食べやすい食材の大きさや、一食の量、メニューのバランスなど保護者に見える化して、家庭の食事に繋げていきたいと実物を展示する事にしました。



●活動の成果、今後の課題

降園時に毎日写真に撮る保護者や、子どもと一緒に見て給食をヒントに、「この野菜食べた?お家でもこんな風に作ってみようかな?そしたら食べてくれる?」など、給食のメニューを真似て作ったり、食材の切り方を工夫したり、保護者が子供の食べやすい改善方法を自分で見つけ、親子の会話の中でも家庭での食育に繋がってきていると感じています。



〈取組項目：給食や弁当を通じた豊かな人間性の育成〉

〈取組場面：保幼〉

子育てカレッジ

「食育ってなあに？～好きな物ばかり食べてていいの？～」

刈谷市

●実施時期：平成 30 年 6 月 14 日

●対象者：市内在住・在勤・在学の育児中の女性

●内容

食事のバランスガイドをわかりやすく伝えるために、5色に分けられた料理の仲間を代表するキャラクターとして設定された『食まるファイブ』を媒体に、食における問題点とその解決策について講座を開催しました。



●活動の成果、今後の課題

「今一度食の大切さを見直して向き合っていきたい」、「食事をただ行うだけでなく、楽しい雰囲気を作ることで、子どもの食べてみようと思わせることができるのだと勉強になった」などの声がアンケート結果にあり、食育の推進に効果はあったものと考えています。



〈取組項目：家族や友人と食事をとるための環境整備〉

〈取組場面：地域〉

2 体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

ヤクルト出前授業

半田市（乙川児童センター、有脇児童館、亀崎児童センター、成岩児童センター）

●実施時期：平成 31 年 2 月 6 日

●対象者：おやこっこ（2～3歳児親子）

●内容

2～3歳児を対象に自身の健康について興味を持ってもらうために、ヤクルトの出前授業を実施しました。ヤクルトからは、3人の講師を迎え講座を行いました。出前授業では、プロジェクターを使用し、DVDの上映と絵本「おなかくん」の読み聞かせを行いました。読み聞かせでは、おなかによい生活をする事の大切さと、どのような生活がおなかによい生活なのかを具体的に学びました。ヤクルトのマスコットキャラクターである「ヤクルトマン」は子どもたちに人気で、一緒に腸を動かし健康的な体を作るための「おなか元気体操」を行いました。



全体では、30分程の講座でした。

●活動の成果、今後の課題

おなかの話は2～3歳児には難しかったようですが、お母さんたちはしっかりと聞いていました。体操は子どもたちが上手に踊ってくれ、大変盛り上がりました。今回の出前授業をきっかけとして、健康のために「早寝早起き」、「好き嫌いをなく食べる」といったことを普段の生活の中で実践してもらえることを期待できるものでした。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域〉

ランチルーム活用事業（調理体感）「わくわくクッキング」

東郷町食生活改善推進員

●実施時期：平成 31 年 1 月 30 日

●対象者：幼児とその親

●内容

食生活改善推進員を中心に、「いこまい館」を訪れた幼児とその親に参加していただき、麩を使用したおやつ「麩のフレンチトースト風」の調理・試食を行いました。混合液に 10 分程度浸した麩をホットプレートで、弱火でじっくり焼くところから参加していただき、焼きあがった麩をお皿に盛り付け、きな粉をふりかけてもらいました。



●活動の成果、今後の課題

保護者から「麩を使ったレシピが思いつかなくて余ってしまう」との声があり、食生活改善推進員が様々な献立を紹介していました。

教室終了後のアンケートでは、「家でも作ってみようと思った」、「子どもとおやつを作る機会がなかったのうれしかった」等の回答がありました。手作りする楽しみや、食に関する興味を持ってもらうことができたのではないかと思います。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：地域〉

刈谷市の特産品の大豆を育て、みんなで食べよう

刈谷市立富士松北保育園

●実施時期：平成 30 年 9 月～12 月

●対象者：5 歳児

●内容

J A職員の方から「刈谷市の北部地区はたくさん大豆を作っている」という話や育て方を聞き、種まき、間引き、水やりをして大豆を肥料袋で育てました。実際に育てていく中で、虫の駆除、肥料やりなどの指導を受け、野菜を育てる大変さを知ったり収穫の喜びを味わったりすることができました。

子ども達とどんな料理にして食べたいかを話し合い、園での給食で食べました。また、家庭に大豆を持ち帰り、どんな料理にして食べたかを子どもたちと話し、保護者の方も関心をもてるようにしました。

●活動の成果、今後の課題

毎日保護者の方と一緒に通る通路に大豆を育てている肥料袋を置いたことで、保護者にも関心を持ってもらえ、親子で成長への期待や喜びを感じる会話が聞かれました。

更に家庭との連携が深まるような発信をしていき、食べ物や栽培に関心をもってもらえるようにしたいです。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼〉

野菜の栽培・収穫、地域交流

春日井市青少年子ども部保育課玉川保育園

●実施時期：通年

●対象者：園児

●内容

園児の食べ物に関する知識や興味・関心を高め、食べることへの意欲や感謝して食べることにつながってほしいと考えて、園庭の花壇で季節ごとに野菜を栽培・収穫しています。また、地域の方に御協力いただき、地域の方の畑で野菜の収穫体験や園の畑の野菜の栽培方法を教えてもらっています。子どもたちは種まき、水やりなどをし、野菜の生長を喜び、収穫を楽しみにしています。

収穫した野菜は家庭に持ち帰り、食べてもらうことで様々な野菜を食べるきっかけとなり、園や家庭で食べ物を話題にする機会も増えていると感じています。野菜が苦手な子が園や親しみをもっている地域の方からいただいた野菜は食べているなど、保護者の方の反響も多いです。

●活動の成果、今後の課題

野菜の栽培・収穫、地域の方との交流を通して子どもたちの食べ物への興味・関心を高め、様々な食材を食べてみようとする意欲につながっています。また、地域の方との良い交流の機会となっているので今後も同様の取り組みを継続していきたいと考えています。



〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼〉

野菜の栽培とクッキング

北名古屋市

●実施時期：通年

●対象者：幼児3歳児から5歳児

●内容

保育園内の畑やプランター及び近隣の畑を利用し、野菜を年間通して栽培しています。成長に合わせて興味が出てきて図鑑などで栽培方法を調べたりすることで、学習や意欲につながっています。

収穫した野菜を子ども達が切ったり煮たりして、カレー、おにまんじゅう、ピザ、野菜汁、スイカサワーなど、自分たちで調理することで、より食に対する関心を高めることができます。

近隣の方の畑を貸していただいたり、育て方の指導を受けたり、地域の方が植えた芋を収穫させていただいたり、地域の方とのつながりを持ちながら収穫の喜びを感じられています。カット野菜しか見たことがない子どももいるので、いろんな野菜の種類を知るよい機会となっています。

●活動の成果、今後の課題

子ども達は種をまいて芽が出ることを楽しみにしたり、苗を植えて花が咲き実がなることを知り、苦手な野菜もみんなと一緒にクッキングすることで口にすることができたり、苦手だったものが好きになったりと成果は見られます。

ただし、アレルギー児が増えており、調味料も問題になっているため、注意が必要です。

〈取組項目：乳幼児期における食とのふれあい機会の確保〉

〈取組場面：保幼〉

どうまい！農産物堪能ツアー

豊橋田原広域農業推進会議

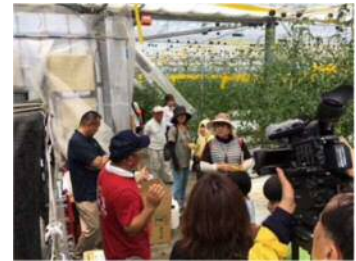
●実施時期：平成30年6月、11月

●対象者：中学生以下とその保護者

●内容

豊橋市、田原市、JA豊橋、JA愛知みなみで構成する豊橋田原広域農業推進会議では、食農教育を推進するため、主に親子向けを対象に各種イベントを開催しています。

一つの農産物にテーマを絞り（6月はトマト・ミニトマト、11月は次郎柿）、圃場での収穫体験、農家による講話、選果場見学、収穫した農産物を使っての料理教室を行いました。料理教室ではいずれもテーマの農産物を食材に使用した数種類のメニューの調理を行いました。



●活動の成果、今後の課題

テーマの農産物を絞った一貫したツアー開催により、栽培の様子から流通に乗るまでの過程、さらにはその料理方法を知ることによって参加者はテーマの農産物について新たな魅力を発見し、より興味関心を深めていただくことができたと思います。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

親子で体験 野菜収穫&スイーツ教室

渥美半島の農産物PR団体「ベジエール渥美」

●実施時期：平成30年11月23日

●対象者：小学生以下とその親

●内容

野菜の生り方を知ってもらうことや親子で料理を作ること、野菜を好きになって、もっと野菜を食べてもらうことを目的とし、市内にある農業公園を使用し、親子でキャベツ・ダイコン・サトイモの収穫体験を行い、その後サトイモやカボチャを使ったスイーツ教室を行いました。

収穫した野菜はそのまま持ち帰ってもらいました。

●活動の成果、今後の課題

参加者アンケートでは、「野菜収穫体験は貴重で楽しかった」「普段野菜は食べない子どもがおいしいと言って食べてくれた」との意見があり、とても充実した体験ができたということが読み取れたので、来年度以降も継続して実施していきたいです。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

親子お魚教室とお魚料理教室

美浜町、株式会社昭和、美浜町食生活バランス研究会、愛知県知多農林水産事務所

●実施時期：平成30年8月9日

●対象者：小学生をもつ親子

●内容

子どもたちに美浜町で採れる農産物、水産物を楽しみながら知ってもらい、さらに調理実習を行うことで食に関心をもってもらえる教室で、株式会社昭和、美浜町食生活バランス研究会、美浜町、愛知県で一体となって取り組みました。

第1部で、愛知県や美浜町で獲れる水産物の説明やクイズ等を通して親子勉強したあと、第2部で、お魚教室で学んだ愛知県のお魚や美浜町の特産品を使用した4つのメニューの料理教室を行いました。

●活動の成果、今後の課題

切り身や骨取り魚などが多く普及し安全かつ手軽に魚を食べていただけの時代だからこそ、今回のように生きた水産物と触れ合い調理する機会は、今後の食生活を担っていく世代に食への関心や知識を深めていただける良いきっかけとなりました。

魚離れの進む中で、企業とのコラボでの調理実習は大変好評であり、また夏休み期間中だったので大変盛況でした。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

親子食育体験教室

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成30年8月16日、11月10日、11月17日

●対象者：小学生をもつ親子

●内容

小学生の親子と一緒に農業体験や食品加工体験などを学習することにより、地産地消や食への意識を高め、健康な食生活の実現と健全な心身の成長および豊かな人間性を育むことを目的に実施しています。

8月16日に”ウインナー作りと八丁味噌の工場見学”を開催し、11月10日に”れんこん掘り体験とれんこん料理を作ろう”を開催しました。さらに、今年度新たに11月17日に”みかん狩りとみかんを使った料理を作ろう”を開催しました。

●活動の成果、今後の課題

参加した小学生の親子は、農業体験や地場産物の生産・製造現場での体験を通して、生産者への感謝の心を育むとともに、地産地消や地域独自の食文化に関心を持つことができました。また、親子で参加することで家族愛も深まり、貴重な体験となりました。



〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：地域〉

ファミリークッキング		春日井市子育て子育て総合支援館
●実施時期：平成 30 年 7 月 8 日	●対象者：市内小学生とその父親	
<p>●内容</p> <p>父親と一緒に料理をすることで、親子でのふれあいを楽しみ、食材だけでなく、家庭における調理を通して食への興味・関心を持つことのきっかけづくりを目的としています。</p> <p>申込み先、実施場所は「子育て子育て総合支援館」で、当日は春日井市食生活改善協議会「ヘルスマイト」を講師に、毎回異なる献立でクッキングを実施しています。</p> <p>材料費は一人 300 円で、調理、試食、後片付けまでを行います。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>8 組 16 名の定員のところ、平成 30 年度は 26 組の応募がありました。近年、定員に対して応募者が多くなってきています。</p> <p>参加の親子からは「家でも作ってみたい」「参加できてよかった」などの声が聞かれ、父親と子どもがふれあう良い機会となっているようです。</p> <p>回数の増加も視野に入れ、今後も継続していきます。</p>		
〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉		〈取組場面：地域〉

親と子の栄養教室		江南市（保健センター）
●実施時期：平成 30 年 7 月 24 日、8 月 9 日	●対象者：小学生とその保護者	
<p>●内容</p> <p>江南市では、食に関する話と調理実習を通して食への意識を高め、豊かな食生活に繋げることを目的に、夏休みに小学生を対象とした「親と子の栄養教室」を保健センターで開催しています。</p> <p>昨年のアンケートに「だしについて学びたい」という意見があった為、今年度は、「だし」「うまみ」をテーマにしました。かつお節や昆布などの食材を実際に触って、色、形、においを観察したり、だしの飲み比べやみそ汁づくりにチャレンジしました。五感を通し理解を深めました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>計 24 組 59 名の方が参加し、アンケートから「だしの飲み比べができてとても嬉しかった」「楽しくできた」という意見が得られました。</p> <p>「味噌のことを学びたい」「ピザや餃子、パンなどを作ってみたい」と意欲的な意見が多く、食への興味を引き出すことができました。</p> <p>母親から家でゆっくり調理する時間がないという声をよく聞くので、親と子で食に向き合う機会を増やしていきたいと考えています。</p>		
〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉		〈取組場面：地域〉



親子料理講座「学校給食を作って・学んで・食べてみよう」

愛西市栄養教諭・学校栄養職員部会

●実施時期：平成31年1月19日、1月26日、2月2日

●対象者：小中学生の親子

●内容

学校給食についての理解を深めることと親子で料理を行う体験的な学習を行うことを目的として、公民館主催の生涯学習の一環として実施しました。

内容は「学校給食の栄養と衛生管理について」、「学校給食の歴史について」、「学校給食と地産地消の関連について」とし、全3回の講座を開催しました。それぞれの講座では、栄養教諭がテーマについての講義を行い、実際に給食で提供したことのある献立を調理した。

【実施献立】

- ① ごはん・牛乳・揚げじゃがいものそぼろ煮・ひじきのサラダ・牛乳寒天
- ② コッペパン・脱脂粉乳・鯨のマリアナソース・千切りキャベツ・けんちん汁・安倍川マカロニ
- ③ ごはん・牛乳・さばの越津ねぎソースがけ・切り干し大根と三つ葉のかみかみ和え・トマト入り味噌汁・れんこん白玉のフルーツポンチ

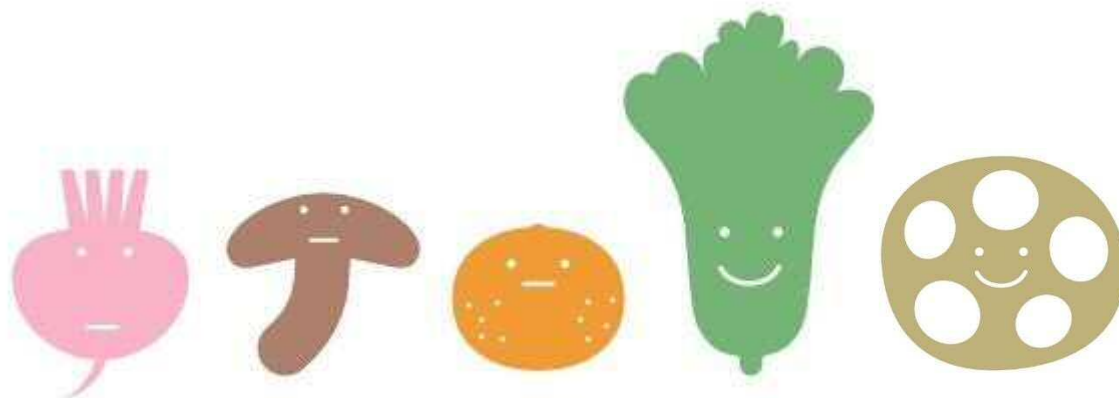


●活動の成果、今後の課題

本講座には7組の親子が参加しました。受講後のアンケートでは、「栄養満点な給食のレシピを知ることができてよかった」、「鯨の肉を初めて食べてよい経験になった」、「家でも早速、愛西市産の野菜を買って習った料理を作ってみた」、「今後も開催されるのであればまた参加したい」との声が寄せられました。

〈取組項目：少年期から青年期を中心とした食に関する体験等の充実〉

〈取組場面：学校〉



「食育ツアー」の開催

豊川市

●実施時期：平成 30 年 8 月 22 日

●対象者：小学生とその保護者

●内容

「第 2 次豊川市食育推進計画」に基づき、調理の機会の充実、地産地消推進、体験活動の充実を施策の一環として、食と農への感謝の気持ちを育むことを目的とした事業です。

14 組 28 名による食品加工工場にてコーン・卵・寒天等の製造ラインの見学、豊川産農産物を使用した料理教室を実施しました。

●活動の成果、今後の課題

食品加工工場については「一日に卵を何万個も作っているなんてびっくりした」、「小分けを同じ量ごとでわけるのは大変そうだなと思った」と地元の食品加工工場について、知る機会を設けることができました。料理教室については、「自分で作った料理はおいしかった」「簡単に作れたので楽しかった」と楽しんでいる子が多くいました。

今後の課題としては、農業体験を通して、食のありがたみをわかってもらえるような機会を設けたいです。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

あいち健康の森薬草園イベント

一般社団法人愛知県薬剤師会

●実施時期：通年

●対象者：県民

●内容

県民が薬草を通じて心とからだの健康づくりを行い、自然との共存や薬・食を学ぶことができる場として、あいち健康の森薬草園において毎月イベントを実施しています。食に関する企画として、8月5日（日）にスパイスやハーブを使ったカレー粉手作り体験と食中毒予防に関する講義を行いました。

●活動の成果、今後の課題

参加者の感想から「子供でも作れる物で楽しくできました。どんなカレーが出来上がるか楽しみです。」「食中毒予防は知らないこともたくさんありとても興味深く聞きました。」と大変好評な企画となりました。終了後のアンケートでは9割以上の方が「健康づくりに薬草が役立つ」と回答する等、薬草に興味をもってもらう機会になりました。

今後も同様の取組を継続していきたいと考えています。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

子ども食育体験教室

幸田町食育推進会議・部会

●実施時期：平成30年12月27日

●対象者：小学生（4～6年生）

●内容

食育の一環として、漁業・道の駅を見学し、私たちが日ごろ食べている魚介類や幸田町の特産物について知識を広め、食について学ぶことを目標としています。

蒲郡にある三谷漁業協同組合へ行き、組合長から漁業の話聞き、実際に漁船やいけすの見学を行いました。また、幸田町にある道の駅へ行き、店長から幸田町の特産物について話を聞きました。



●活動の成果、今後の課題

日ごろ食べている魚介類や幸田町の特産物について興味を持つ良い機会になりました。教室終了後に行ったアンケートでは、参加者から「他の施設も見学してみたい」という回答をいただきました。今後も同様の取組を継続していきたいと考えているため、周知の方法や教室の内容など検討したい。



〈取組項目：幅広い層に向けた体験・交流の機会の提供〉

〈取組場面：地域〉

3 日本の食文化や郷土料理等の理解と継承

給食における基本的マナーを身につけよう

春日井市青少年子ども部保育課出川保育園

●実施時期：通年

●対象者：園児

●内容

近年、スプーンや箸を上手に持てない子どもが多い事から、子どもたちのスプーンや箸の正しい持ち方の習得を目的として取り組みました。対象は、0歳児を除く乳児と幼児210名です。

家庭でのしつけが難しくなっている現状において、保育園で一年を通して指導を行うことを考えました。スプーンや箸の持ち方はもちろんのこと、食べる時の姿勢や茶碗などの持ち方についても同じように取り組みました。

●活動の成果、今後の課題

年長児になると自分たちで意識して正しく持とうとする姿も見られるようになりました。

声をかけなかった年よりも意識して声をかけて取り組むことで良い成果がみられたので、今後も同様の取り組みを継続していきたいと考えています。

〈取組項目：子どもに対する食事作法の習得〉

〈取組場面：保幼〉

栄養教諭・学校栄養職員を対象とした食農教育研修会

愛知県農業協同組合中央会

●実施時期：平成 31 年 2 月 9 日

●対象者：栄養教諭、学校栄養職員

●内容

J A 愛知中央会では県下の栄養教諭・学校栄養職員を対象に、生産者、J A と学校との連携を構築するとともに、広く学校関係者の食農教育への理解醸成を進めるため、生産現場の視察等の研修会を実施しています。

今年度は、J A なごや組合員農家のブロッコリー圃場、タマネギ圃場において生産実態を視察しました。学校給食、レストラン等から排出される生ごみをたい肥にして栽培する地域循環型野菜「おかえりやさい」の取り組みについて研修しました。また、冊子「愛知の農業」や、移動販売車を交えて「なごやさい」の取り組み等についても紹介しました。



●活動の成果、今後の課題

参加者からは「おいしい野菜を子どもたちに給食で伝えていけるよう頑張りたい」「研修に参加して生産者の苦労を感じた。生産者の思いを受け止め、野菜を有効活用していきたい」との意見がありました。

〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：保幼〉

愛知を食べる学校給食の日

愛知県教育委員会健康学習室

●実施時期：平成 30 年 6 月 19 日、秋、平成 31 年 1 月の 3 回

●対象者：給食を実施する公立学校

●内容

県では、学校給食に地場産物を使用することにより、児童生徒・保護者等が地域や地域の産物の理解を深め、地域に伝わる食文化や食の加工技術に触れることにより、より豊かな食生活を営もうとする意欲を高める機会とするため、平成 19 年度から「愛知を食べる学校給食の日」を実施しています。

この日は、県内の公立学校において、普段より多くの地場産物を使用した献立を提供するとともに、地場産物や地域に伝わる郷土料理・郷土の食文化等を紹介する集会、校内放送、啓発資料作成などを行いました。

●活動の成果、今後の課題

各学校において、地場産物を積極的に活用した給食が提供されるとともに、「食育だより」等を通じて、児童生徒や保護者に地場産物や郷土料理等を紹介する啓発活動が年々充実してきました。

一方で、「あいち食育いきいきプラン 2020」の数値目標「学校給食における全食品数に占める県産食品数の割合 45%」は、平成 26・27 年度に 40%を超えたものの、平成 28・29・30 年度は 40%を下回りました。県産食品を活用する献立を作成しても、野菜の高騰や天候不順の影響等により、県産食品が使用できなかったことが大きな要因と思われます。

〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

地場産物料理講習会

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成30年8月8日

●対象者：栄養教諭、学校栄養職員

●内容

学校給食における地場産物の利用割合や県産食材の種類を増やすため、献立作成を行う栄養教諭・学校栄養職員を対象に開催しました。

愛知県の伝統野菜や伝統調味料に詳しい日本料理「一灯」の長田料理長をお迎えし、36名の栄養教諭・学校栄養職員が参加しました。

内容は、夏のあいちの伝統野菜を使用した調理実習と「大切にしたい和食文化」と題した講義を行いました。

●活動の成果、今後の課題

参加者のアンケートからは、「初めて見る愛知の伝統野菜を調理し、味わうことができ、とても勉強になった。子どもたちに伝えたい」「愛知は農産物だけでなく、醸造文化もあり豊富な食材に恵まれていることを児童生徒に伝えていきたい」等、愛知の地場産物について知識を深め、献立作成に役立つ講習会となりました。



〈取組項目：給食等における地場産物や郷土料理等の導入促進〉

〈取組場面：学校〉

クッキング教室（おせち料理づくり教室）

新城市

●実施時期：平成30年12月8日

●対象者：市民

●内容

第3次食育推進計画に基づき、郷土料理の伝承に向けた取組として市民を対象としたおせち料理作り教室を新城青年の家の料理実習室で開催しました。

「農村輝きネット・しんしろ」の方々に講師をお願いし、簡単にできるおせち料理7品を参加者の方と一緒に調理し、試食を行いました。

●活動の成果、今後の課題

参加者と講師が一緒になって楽しく調理することができ、参加者からは「楽しかった。」「勉強になった。」という声をいただきました。

今回は若い世代の参加が少なかったため、今後は若い世代に対し地域に伝わる食文化を伝承していけるよう、周知方法を検討する必要がありますと感じました。



〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

食文化の保護・継承のための調理体験等の実施

岡崎市

●実施時期：平成30年11月10日、11日

●対象者：市民

●内容

岡崎中央総合公園でJAまつりと同時開催した食育総合展示会において、第3次岡崎市食育推進計画の啓発を行いました。プログラムの一つとして、岡崎の食文化の保護・継承を目的とし、岡崎の郷土菓子「法蔵寺団子」を作る体験を実施しました。参加者はホットプレートで団子を焼き、団子をたれにつけ、また焼くという作業を2～3回繰り返し、香ばしい法蔵寺団子に仕上げていました。法蔵寺団子や岡崎の食文化について家族で話し合いながら楽しそうに食べる様子が見られました。また、法蔵寺団子についてのパンフレット及びパネルを作成し、市民への啓発を行いました。



●活動の成果、今後の課題

岡崎の郷土料理及び郷土菓子の中でも認知度が低い法蔵寺団子を作る体験を無料で行うことで、岡崎の食文化を知って味わっていただく機会としました。同時に実施した食育に関するアンケート調査結果において、岡崎の郷土料理及び郷土菓子の認知度が低いことから、今後多くの機会に啓発していく必要があります。

〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉

守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習

扶桑町守口大根漬物組合、株式会社扶桑守口食品、扶桑町

●実施時期：平成30年9月～平成31年2月

●対象者：小学校3年生～5年生

●内容

扶桑町に対する愛着や誇りを育むことを目的とし、地産地消や食育を含め、扶桑町の特産品である守口大根について、守口大根漬物組合（生産者）と株式会社扶桑守口食品（加工業者）の協力を得て、3年生は種まきと収穫、4年生は二度の粕漬けの漬け替え、5年生は仕上漬けを経て守口漬けになるまで、3年間を体験しながら学びます。

●活動の成果、今後の課題

本事業を通じ、本町の特産品である守口大根が家庭で話題となっている声を多く聞き、いままで以上に身近なものとなっています。また、今年度は生育状況が良かったため、児童の身長より長い守口大根が多くあり好評でありました。

今後の課題としては、種まき、収穫は期間が限定されており、台風、積雪など天候不順により中止せざるを得ない場合があります。中止となった場合、実際に体験している映像を授業で観られるよう、DVD作成を検討しています。

〈取組項目：日本型食生活の推進、郷土料理等の地域の食文化の継承〉

〈取組場面：地域〉



食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

「もったいない」の心を持って、食べ残しを減らしたり身近な地域でとれる農林水産物を積極的に活用する地産地消を進めるなど、食べ物の消費と生産の両面から、環境への配慮に取り組みました。

1 食生活における環境への配慮の徹底

「食べ残し探検バスツアー！豚さんのご飯ができるまで」開催

瀬戸市

●実施時期：平成30年7月25日

●対象者：小学生とその保護者

●内容

可燃ごみに含まれる食品ロスを含む生ごみの比率は一番高いため、スーパー等で発生する食品残渣が豚の飼料にリサイクルされる流れを実際に見学することで、生ごみ（食品残渣）を理解し、食品ロス削減の啓発につなげることを目的としたバスツアーを開催しました。

晴丘センター（尾張東部衛生組合）、アピタ瀬戸店、中部有機リサイクル（株）などを見学し、スーパーで発生した食品残渣から飼料を作り、その飼料で育った豚肉などがスーパーで販売される流れ（リサイクルループ）を学びました。

また、ツアー中、食品ロスに関する講習会もあわせて開催しました。

●活動の成果、今後の課題

食品ロスの削減に直接関わる事業所の見学は調整が難しかったが、生ごみや「もったいない」について考える機会を提供できたものと思われます。時期が夏で臭気が強かったこともあり、生ごみ（食品残渣）を前にして目をそむける参加者もいましたが、概ね主旨を理解いただけたと思われます。



〈取組項目：子どもに対する環境学習の推進〉

〈取組場面：学校〉



エコアクション推進フェアの開催

愛知県環境活動推進課

●実施時期：平成30年11月17日、18日

●対象者：県民

●内容

環境に配慮した食生活の実践など、地球にやさしい身近な環境配慮行動「エコアクション」を県民の皆様が取り組んでいただくきっかけとなるよう、参加型の環境イベントを開催しました。

大村知事とジブリソング歌手の井上あずみさんのトークショー、環境にやさしいお買い物クイズ、地元アイドルグループのパフォーマンス、環境活動に取り組む団体・企業の展示・ワークショップなどを行いました。



●活動の成果、今後の課題

2日間で約15,000人の方にご来場いただき、楽しみながら「エコアクション」への理解を深める体験をしていただきました。

更に多くの皆様に「エコアクション」に取り組んでいただけるよう、多くの主体と連携しながら魅力のあるイベントにしていきたいと思っております。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

おから味噌づくりで食品ロスを減らそう

食育推進ボランティアグループ「ハピ食」

●実施時期：平成31年1月21日

●対象者：名古屋市民

●内容

食品ロスについて身近な場面で減らしていきたいと思い、おから味噌に出会い、インストラクターの資格を取得しました。おからの9割が廃棄になり処分されているということを知り少しでも廃棄を減らし食品ロスに貢献できたらと思い、おから味噌づくりを開催しました。

おから味噌づくりと同時に、おからを使った料理の紹介やおからが身体、健康に良いということについて伝えていきたいと思っておりました。おから味噌づくりをとおして、手づく味噌を家庭でも手軽に作ってもらいたい、また、このおから味噌を使ったセルフ味噌汁講座も開催しました。マグカップを使い老若男女手軽に味噌に親んでもらいたいとセルフ味噌の作り置き講座も開催しました。

●活動の成果、今後の課題

参加者から、「おから」が食品として利用されるより廃棄になってしまうことが多いことに驚いていました。参加者と「おから」を使った料理の情報交換や「おから」に対するイメージを共有することができました。おから味噌づくりは火を使わず、材料も手軽であるということから味噌づくりは面倒という概念がなくなり自分で作りたいという声が多かったです。

今後も同様に続けていきたいと考えています。



〈取組項目：環境に配慮した食生活の実践〉

〈取組場面：地域〉

2 農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

食育・農業プロモーション映像制作	
安城市	
<p>●実施時期：平成30年4月以降作成、平成31年2月 完成・披露</p> <p>●対象者：主に市内小・中学生および若い世代</p>	
<p>●内容</p> <p>食育の普及・啓発と安城農業の広域的なPRのため、プロモーション映像の制作をしました。来年度以降に市内小・中学生の「食育」の授業にて活用し、また、一般に向けてはWEBや各種イベント等での情報発信を予定しています。</p> <p>実際に農業に携わる若い農業者が主体となって制作に取り組み、自ら出演することで、農業の魅力をPRし、若い世代に農業に興味を持ってもらうことを目的としています。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>若い農業者が出演することで、若者の農業に対するイメージを変えることができると考えます。安城農業の魅力をどこまでPRできるか、農業に興味を持った若い世代が将来どのような選択をしていくのか、長期的に注視することが今後の課題と考えます。</p>	
〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉	〈取組場面：地域〉

ええじゃないか豊橋まちなかマルシェ 豊川用水通水50周年記念「通水の日」イベント	
愛知県農地計画課	
<p>●実施時期：平成30年6月3日</p> <p>●対象者：県民</p>	
<p>●内容</p> <p>豊川用水は平成30年6月1日に、全面通水から50周年を迎えました。この節目の年を絶好のPRの機会と捉え、豊川用水の恩恵等を住民にPRし、水の大切さや豊川用水の歴史について学んでいただく機会とするため、豊川用水の水源地域や豊川用水受益地内の農産物を販売するイベントを行いました。</p>	
<p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>約6,000名の方に参加していただき、豊川用水の恵みを楽しんでいたがながら、水の大切さや豊川用水の歴史について学んでいただく良い機会となりました。今後も、県内の大規模な用水の歴史の節目には、このようなPRイベントを開催し、より多くの県民に啓発していくことが必要だと考えます。</p>	
〈取組項目：農林水産業への関心と理解を深める取組の推進〉	〈取組場面：地域〉



親子工場見学会

公益財団法人愛知県学校給食会

●実施時期：平成30年7月7日

●対象者：県内の小学生親子

●内容

この取組は、学校給食に使用されている食材がどのようにして製造されているかを学習し、学校給食への理解と食への関心を高めるために実施しています。学校給食で毎日飲んでいる牛乳について学習するため、県内の小学生親子12組24名の参加者と、豊橋市にある中央製乳㈱と牛舎見学へ行き、牛乳の製造工程を学びました。



●活動の成果、今後の課題

毎日学校給食で提供されている牛乳が徹底された衛生管理のもとに製造されている工程や、酪農家から乳牛の飼育について詳しく学ぶことにより、学校給食への理解を深めるとともに生産者の大変さを学ぶことができました。



参加者アンケートでは、約90%の方が「勉強になり、よかった」と回答しており、今後も継続していきたいと考えています。

〈取組項目：子どもに対する地産地消の理解と利用の促進〉

〈取組場面：学校〉

地元の“おいしい”が大集合！「豊橋市場まつり」

豊橋地域地方卸売市場研究協議会、豊橋市、株式会社サイエンス・クリエイト

●実施時期：平成30年11月3日

●対象者：市民

●内容

まちの台所である市内の2つの地方卸売市場が中心となって消費者に対する地産地消の推進と飲食業者の市場流通による商流構築の推進を図るため、地元産を中心とした農産物の販売、市場見学ツアー&模擬セリ体験、飲食店向け農産物取引相談会を行いました。より幅広い年齢の来場者に楽しんでいただくために野菜をテーマにしたゲームコーナーを設置しました。会場には市内の事業者が出店し、地元産農産物を使用した飲食物を販売しました。



●活動の成果、今後の課題


初の試みであるにもかかわらず、当日は予想を超える多くの人でにぎわい、およそ2,000名を超える来場者があったものと見られます。消費者の方の地元市場が開催するイベントへの期待への大きさを感じました。

〈取組項目：青年期以降における地産地消の実践〉

〈取組場面：地域〉

3 農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底

フードドライブ活動	
日本労働組合総連合会 愛知県連合会	
●実施時期：平成 30 年 11 月 5 日	●対象者：市民
<p>●内容</p> <p>連合愛知の新たなボランティアとしてフードバンクと連携した取り組みを検討している中で、フードドライブという活動を知り、今後の方向性に向けた検討をするために実施しました。セカンドハーベスト名古屋様からアドバイス等をいただき、愛知県中央メーダーの会場にて、フードドライブを実施し食品を集めました。集めた食品については、セカンドハーベスト名古屋様に寄付しました。(当日出席者：約 3,000 人)</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>初めて実施するため、実際にどれだけ食品が集まるかが不安でしたが多くの参加者から食品を寄付していただき、合計で 166.6 キログラムの食品を集めることができました。</p> <p>課題として、愛知県中央メーダーの会場は栄で実施しているため、遠方から参加する方は持ってくるのが手間になってしまいます。参加者にとって、食品を集める場所が近いほうが食品を持っていきやすいため、集める場所を検討する必要があると考えました。</p>	 
〈取組項目：フードバンク活動の普及啓発〉	〈取組場面：地域〉

フードドライブ～ご家庭に眠っている食品大募集！～	
長久手市、長久手市社会福祉協議会	
●実施時期：平成 30 年 11 月 6 日～11 日	●対象者：誰でも可能
<p>●内容</p> <p>賞味期限の近接や包装不良等により、まだ食べられる大量の食品が捨てられている問題を背景に、ご家庭で賞味期限は切れていないが、忘れられて保管されている「もったいない食品」を持ち寄り、集めて、フードバンクに寄附するイベントです。</p> <p>平成 30 年 11 月 6 日～11 日の期間、長久手市社会福祉協議会と市役所福祉施策課を窓口で募集したところ、寄付者 82 名、寄附食品総計 1,046 点 600.8kg の米類や乾物等の食品が集まりました。</p> <p>いただいた食品は、フードバンクを担う「NPO 法人セカンドハーベスト」名古屋へ寄附されました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>昨年よりも多くの方から食品の寄附をしていただきました。今後もイベントとしてだけではなく、フードバンク活動への理解促進を図るとともに、背景にある食品ロスの問題についても周知していきたいと思えます。</p>	
〈取組項目：フードバンク活動の普及啓発〉	〈取組場面：地域〉

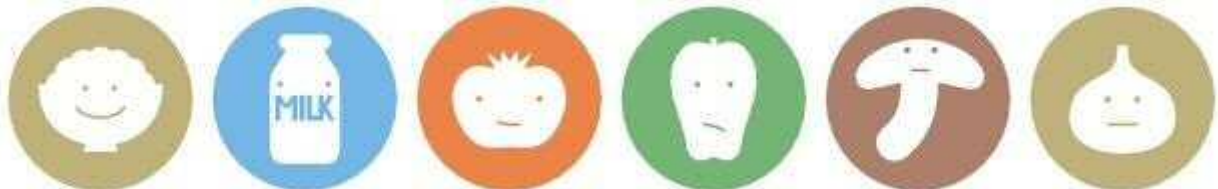


食育を支える取組

食育を効果的に推進するため、市町村を始めとする関係者との連携を図りつつ、「食育にかかる人材の育成と活動の充実」、「関係者の役割分担とネットワークの充実」及び「いいともあいち運動の推進」について取り組みました。

1 食育にかかる人材の育成と活動の充実

食生活改善推進員再教育事業	
清須市	
●実施時期：通年	●対象者：清須市食生活改善推進協議会会員
<p>●内容</p> <p>清須市では清洲地区（にんじん）、西枇杷島地区（とまと）の2つのグループに分かれて、それぞれ月1回定例会を実施しています。</p> <p>今年度は保健師、管理栄養士、歯科衛生士による糖尿病・脂質異常症、その予防のための食事、歯の健康についての講話、健康づくりリーダーによる運動の実技を行いました。</p> <p>また、定例会の後半は、毎回、会員が作成・栄養計算したレシピに基づき、減塩や野菜を多く使った料理の実習を行い、市管理栄養士が助言を行いました。その中から選んだおすすめレシピを管理栄養士のコメントとともに、毎月広報に掲載しています。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>今年度からの取り組みとして、西枇杷島地区のグループ（とまと）の定例会では、各回のテーマについて、会員が講師役となり学習する取り組みを開始しました。その結果、これまで以上に自主的に健康と栄養について学ぶことができました。</p>	
〈取組項目：食育に係る多様な人材の育成と活動の促進〉	〈取組場面：地域〉



学校で使用する食育教材「あいちをたべよう（CD）」の作成

愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会

●実施時期：通年

●対象者：県内勤務の栄養教諭・学校栄養職員

●内容

本協議会の研究テーマのひとつとして「地場産物を活用しよう」があります。本年度は地場産物に関わるCD教材を作成しました。CDには、日本・愛知県地図データのほか、地場産物のカードや写真説明文、地場産物に関する指導案、食育に使えるパワーポイント資料も収録されています。地場産物のカードは、昨年度作成した「愛知県地図タペストリー」に貼ることができます。栄養教諭・学校栄養職員が、社会科などの授業や給食の時間の指導などで活用することで、児童生徒に地場産物への関心を高め、地域への愛着を深めることを目的としています。

●活動の成果、今後の課題

児童の感想として「給食の食べ物は近くでとれたものだと分かりました。」「これからは作っている人に感謝して食べたいです。」など、自分たちの食べている食事が地域で暮らす人によってつくられていることに気付き、感謝の気持ちをもつことができました。



〈取組項目：食育推進資材の作成や調査〉

〈取組場面：地域〉

「ごはんをたべよう」チラシ作成・配布

安城市

●実施時期：平成30年6月中旬

●対象者：市内小学校児童、保護者

●内容

毎年6月は食育月間であることを周知し、食育の一層の推進を図ることを目的として、食育に関するチラシを作成しました。

平成30年度は、「ごはんをたべよう」と題し、第3時安城市食育推進計画の施策でもある「1日3食しっかり食べる」に着目し、食事が体にそのような影響を与えるのか、野菜の栄養素や安城産の野菜についても啓発し、若い世代へ食の大切さを伝えるため作成しました。また、保護者向けに簡単に調理できるレシピも掲載しました。市内小学校の児童約11,600名に配布しました。

●活動の成果、今後の課題

安城市で収穫される野菜を使ったレシピを掲載することで、野菜摂取量の増加に向けた啓発も行いました。

若い世代への食育を課題と捉え、どのように伝えていくか、手段などを検討していきたいと考えています。



〈取組項目：食育推進資材の作成や調査〉

〈取組場面：地域〉

2 関係者の役割分担とネットワークの充実

食生活改善推進員活動支援	
稲沢市	
●実施時期：平成 30 年 5 月 19 日、20 日、11 月 3 日	●対象者：市内小学校児童、保護者
<p>●内容</p> <p>市民の健康づくりへの関心を高め、生活習慣病の発症予防と重症化予防、健康寿命の延伸につなげるために、会場をリーフウォーク稲沢店(春)、アピタ稲沢店と稲沢市勤労福祉会館(秋)で、いきいきなぞわ健康フェスタを開催しました。その中のヘルスメイトコーナーにて野菜 350g の計量体験とキッズ向けのエプロンシアターを実施するための支援を行いました。事前に計量で使用する野菜の検討やエプロンシアターでの役割分担など協議しました。実施 3 日間で野菜計量体験延べ 550 人、エプロンシアター観覧は延べ 80 人の市民等の参加がありました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>会員は、野菜計量体験でイベント参加の市民に向けて野菜料理の提案なども含め野菜摂取の大切さを直接アピールすることができました。また、エプロンシアターでは、子供たちの興味を引くような仕掛けも功を奏し盛況でした。これからも会員が市民へ直接啓発活動ができる場を提供・支援していきたいです。</p>	
	
〈取組項目：活動主体同士の情報共有と連携の強化〉	〈取組場面：地域〉
健康フェア（市民ふれ愛まつり）	
岩倉市、岩倉市食の健康づくり推進員、保健推進員	
●実施時期：平成 30 年 11 月 10 日、11 日	●対象者：市民
<p>●内容</p> <p>「私が主役！健康いわくら 2 1～みんなで健康チェック～」をテーマとして開催しました。展示型としては、食生活改善普及運動やバランスの良い料理について紹介しました。参加型としては、大人は「私の健康目標」に、子どもは「私が食べてみたい野菜」に投票してもらいました。投票用野菜として「カリフラワー」「ちっちゃい菜」「トマト」「キャベツ」を地元生産者から分けて頂きました。</p> <p>●活動の成果、今後の課題</p> <p>食生活普及運動の 4 つの課題と改善に向けて分かりやすい展示物を作りました。バランス食の展示を見て、レシピを持ち帰る人が例年より多く、増刷しました。投票結果は、子どもの 1 位は“トマト”。大人の 1 位は“食事をバランス良く食べる”でした。今年度も多くの市民の参加がありました。他課との連携により、生産者から地場野菜を分けて頂き、実際に展示会場に生産者が見に来て下さり、ボランティアと生産者との顔が見える関係づくりを行うことができました。今後も生産者と関係を深め、地産地消の推進や食べ物や生産者、自然への感謝の気持ちを育み、食を通したコミュニケーションを深められることを目指したいと思います。</p>	
〈取組項目：既存のネットワークを活用した関係者間の情報共有〉	〈取組場面：地域〉

3 いいともあいち運動の推進

いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進

愛知県食育消費流通課

●実施時期：通年

●対象者：県民

●内容

愛知県版地産地消の取組でもある「いいともあいち運動」を広く県民の方々にアピールしていくため、いいともあいちネットワーク会員に対して、県産農林水産物を使った商品パッケージや梱包用の段ボール、包装紙などへ、運動のシンボルマークを貼付する取組を推進しています。シンボルマークのシールを作成し、より手軽に商品パッケージ等へ貼付していただけるよう PR しました。

また、県のWEB ページ「いいともあいち情報広場」にシンボルマークを貼付した商品の情報を掲載し、広く県民にPRしました。

●活動の成果、今後の課題

平成 30 年度は、愛知県産大豆粉、米粉を使った大豆粉カレーパウチや愛知県産米を使った蔵元の飲む糰など、新たに 121 商品にシンボルマークが貼付されました。（※商品数は H31.1 月末現在）

今後も、シンボルマークの貼付を通して、いいともあいち運動の認知度向上に努めていきます。



〈取組項目：運動の定着促進〉


〈取組場面：地域〉



- ① 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- ② Eat more Aichi products
(イート モア アイチ プロダクツ)
もっと愛知県産品を食べよう
(利用しよう)

IV 県や関係団体の取組一覧

「Ⅲ 平成 30 年度の主な取組の状況」で紹介した取組を含め、プランで位置付けた県や関係団体などが平成 30 年度に実施した取組については、次のとおりです。

 食を通じて健康な体をつくるために		
バランスのとれた規則正しい食生活の実践		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市	大型仕掛け紙芝居「コウくとバランスマン」	
	健食健口（けんしょくけんこう）教室	
	愛西市オリジナル野菜の歌「届け！野菜の力」と野菜の歌の体操を活用した啓発活動	
愛西市立保育園	自分で考えるバランス給食	
愛知県小中学校長会	「あいち食育いきいきプラン 2020」で求められている学校の取組項目を視点とした調査研究	
愛知県食育消費流通課	あいち食育いきいきシンポジウム「もっと知って楽しくおいしくたくさん食べようあいちの野菜」の開催	4
	野菜摂取量向上のための調理講習会「“旬の野菜”を簡単に、無駄なく、たくさん味わおう！」の開催	4
愛知県食生活改善推進員連絡協議会 （豊橋市食生活改善協議会）	働く世代のための生活習慣病予防料理教室	10
あいち食育サポート企業団	野菜をもりもり食べよう。パワフルサラダ作り	11
安城市	旬の野菜を使ったレシピを市公式ウェブサイトへ掲載	
一宮市（保健センター）	こどもクッキング いちのみや	12
一般社団法人ファイブ・ア・デイ協会	「5 ADAY」～野菜・果物からはじまる健康な食生活を～	
一般社団法人愛知県歯科医師会	0 歳児からの口腔機能育成事業講演会	
岩倉市、岩倉市食の健康づくり推進員	プレママと産後ママの交流会	
	野菜料理プラス 1 皿の取組み	
	新鮮！地場産！！野菜料理フェア！	
大口町	野菜ってすごい！	13
大口町、大口町立西保育園	楽しく食べる子ども 食育サポートさんとの野菜の栽培を通して	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
大府市、大府市内企業	社員の健康講座	
岡崎市	地域の魅力再発見食育推進事業（課題解決に向けたシンポジウム等の開催）	
尾張旭市	離乳食教室	
尾張旭市	「簡単！野菜たっぷり！栄養朝ごはん」メニューコンテスト	9
	食育推進講演会及び学校給食試食会	
	骨コツヘルスアップ教室	
	妊産婦栄養教室だし活のすすめ～おうちで和食～	10
	シニアのための栄養講座	
尾張旭市立西部保育園	わくわくラッキースター	
春日井市青少年子ども部保育課小野保育園	おなかげんき教室	
春日井市青少年子ども部保育課瑞穂保育園	食育の日（ここはぴの日 からだげんきでこころもはッピー！）	
春日井市青少年子ども部保育課松原保育園	食育「食を営む力の基礎」	
春日井市、配食事業者	配食サービス利用助成	
蟹江町	よい子の歯みがき運動	
蟹江町（給食センター）	平成30年度食育講演会	
蒲郡市、市内小中学校	朝ごはん50日チャレンジ	8
刈谷市	地元農産物を活用した学校給食提供時における生産者の学校訪問	
	男性のための栄養教室	11
刈谷市（子育て支援センター）	畑の栽培や収穫を通して野菜に親しもう	
	食育に関する子育て講座の開催	
	離乳食レシピの回覧及び配布	
刈谷市（学校給食センター）	家庭科授業「五大栄養素」	
	小学校2年生を対象とした給食訪問	
	「食生活に関するアンケート」の実施	
	中学校1年生を対象とした給食訪問	
刈谷市立重原幼稚園	食まる食育活動	
北名古屋（保健センター）	保育園での食育講話	7
清須市	乳幼児健診（10か月・1歳6か月・3歳）	
	乳幼児健康相談	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
清須市	離乳食講習会	
	パパママ教室	
公益財団法人愛知県学校給食会	平成30年度 学校給食教室	
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	高等学校職員、保護者会向け栄養改善調理実習の開催	9
小牧市生活改善実行グループ連絡研究会	市民講座（料理教室）	
生活協同組合コープあいち	私の健康 食習慣チェック活動	
瀬戸市	せといきいき健康グルメ	13
知多市	野菜を食べようプロジェクト 「野菜たっぷり！！ヘルシーメニュー」	12
知多市、知多市健康づくり食生活改善協議会、名古屋学芸大学管理栄養学部学生	食育の日啓発イベント	
東海市	マタニティークッキング	
東郷町	「食」の自立支援事業	
東郷町（給食センター）	保育園児を対象とした食育の取り組み	
	学級訪問栄養士指導（小学校）	
	学級訪問栄養士指導（中学校）	8
飛島村、飛島村健康づくり食生活改善協議会	すくすく教室	
豊田市	ベジタブル&トレーニングとよたプラス10(じゅう)	5
豊根村（保健センター）	離乳食教室	
豊山町（保健センター）	食育ひろば	
長久手市	給食センター施設見学試食会	
	給食だよりの発行	
	離乳食教室	
西尾市	西尾市観光協会食部会による食育講座	
半田市児童体験農業実行委員会	児童体験農業	
半田市内小中学校	食に関する指導	
東浦町（保健センター）	赤ちゃん教室 もぐもぐ編	
碧南市社会福祉協議会 荒子保育園	地域老人会の方たちとのもぎ取り体験	
碧南市立築山保育園	給食・レシピの展示	
みよし市	食育講演会	
	産業フェスタでの食生活診断実施	

生活習慣病や過度な痩身等の予防		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (半田市立乙川幼稚園)	「歯の健康についての講演会」「年中児ブラッシング指導」	14
一般社団法人愛知県歯科医師会	第8回もっと噛んで歯ッピーレシピコンテスト	14
岩倉市	健幸チャレンジ教室	
岩倉市、岩倉市食の健康づくり推進員	岩倉市食の健康づくり推進員主催の栄養教室	
尾張旭市	ヤングのうちから健康みつめ隊	
	知って得する！健康プラス教室	
春日井市青少年こども部保育課柏原保育園	歯みがき指導	
春日井市青少年子ども部保育課白山保育園	歯磨き指導	
刈谷市教育委員会学校給食センター	「生活習慣病の予防」を取り上げた授業の実施	
清須市	健康づくり	
	市民健康講座「しなかや血管づくり」	
公益社団法人愛知県栄養士会	あいち県民健康祭「なんでも栄養相談－骨密度測定」	15
飛島村立小中一貫教育校飛島小学校	食育集会の開催	
碧南市社会福祉協議会 棚尾保育園、 碧南市歯科医師会	E6保護事業	15
食の安全に関する信頼の構築		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県食育消費流通課	食品表示110番の運営	
	研修会やパンフ等による表示制度の理解促進	
愛知県生活衛生課	HACCP導入基礎研修	
愛知県生活衛生課、東海北陸厚生局	現地見学型リスクコミュニケーション	16
一般社団法人愛知県薬剤師会	健康食品に関する情報提供	
岩倉市	乳と卵の除去食の提供	5
尾張旭市	給食センター見学	
	皆が食べられる学校給食の日	
春日井市	職員研修(調理員研修 アレルギー研修 歯科衛生士による研修)	16
春日井市青少年子ども部保育課柏原西保育園	アレルギー緊急時対応訓練	
小牧市、 アレルギーっ子のつどいクリスマスローズ	小牧市協働事業「話そう♪アレルギーっ子の子育て」	
碧南市立築山保育園	除去食を減らしてみんなと一緒に食べよう	
碧南市立天道保育園	アレルギー児へのエピペンの取り扱いと実施研修	



食を通じて豊かな心を育むために

食を楽しむゆとりの確保

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (岡崎市立広幡こども園)	食べる、見る、親子で食育につなげよう	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (名古屋市立鳴子幼稚園)	親子でおいしく食べて、楽しく語ろう	17
一般社団法人愛知県調理師会	こどものための愛情弁当コンテスト	
岩倉市	「シェフのスペシャルメニュー」「ふれあい給食会」	
尾張旭市立川南保育園	みんなで食べようお弁当	
尾張旭市立西山保育園	給食試食会	
春日井市	「共食」を促すための周知啓発	
春日井市青少年こども部保育課味美保育園	給食の展示食	
春日井市青少年こども部保育課 岩成台保育園	みんなで楽しく、何でも食べる	
春日井市青少年こども部保育課大手保育園	食育の日	
春日井市青少年こども部保育課貴船保育園	給食・おやつ <small>の</small> 展示食	
春日井市青少年こども部保育課西部保育園	調理員さんとの会食	
春日井市青少年こども部保育課第一保育園	食育計画	
春日井市青少年こども部保育課前並保育園	食に興味・関心を持つ	
春日井市青少年こども部保育課 桃山保育園	給食献立の展示	18
刈谷市	子育てカレッジ「食育ってなあに？～好きな物ばかり食べていいの？～」	19
北名古屋	地域ふれあい食事会	
東郷町立音貝保育園	給食を家庭に繋げ、食育改善！	18
東郷町立たかね保育園	給食に関心を持つ	
碧南市立羽久手保育園	人参を取り入れた給食とおやつ	17

体験や交流を通じた豊かな人間性の育成と食の理解促進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市	親子教室	
愛西市、あいち海部農業協同組合	トマト・加工用トマト収穫体験&ケチャップづくり体験 教室	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市栄養教諭・学校栄養職員部会	親子料理講座「学校給食を作って・学んで・食べてみよう」	25
愛西市立保育園	クッキング保育（カレーライスづくり）	
	夏野菜の栽培や収穫をとおして、野菜に興味をもち、命の大切さを学ぶ。	
愛知県教育委員会、公益財団法人愛知県学校給食会、東海学園大学	あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (津島市立津島幼稚園)	おいもパーティー	
愛知県農業振興課	あいちの都市農村交流ガイド	
愛知県酪農農業協同組合	わくわくモーモースクール（豊川市）	
	わくわくモーモースクール（親子）	
	わくわくモーモースクール（豊橋市）	
愛知県立農業大学校	農業理解研修「農業ふれあい研修」	
	農業理解研修「農業ふれあい研修」出前授業	
	農業理解研修「県民公開講座」現地研修	
愛知消費者協会東三河支部田原グループ	にんじんの会	
あいち尾東農業協同組合、尾張旭市	いちじく畑の見学、いちじくジャム作り講座	
一般社団法人愛知県薬剤師会	あいち健康の森薬草園イベント	26
大口町立南保育園、南地域食育サポート	南地域食育サポートとの交流（カレーパーティー）	
尾張旭市	夏休み！親子で探検給食センターわくわくツアー	
	親子で元気まる測定	
	あったらいいなこんな給食	
尾張旭市子ども子育て部保育課柏井保育園	野菜の栽培	
尾張旭市立あたご保育園	野菜の栽培	
尾張旭市立中部保育園	稲の植え付けから食べるまで	
尾張旭市立藤池保育園	イチゴパーティークッキング	
尾張旭市立本地ヶ原保育園	さつまいもの栽培とおいもパーティー	
春日井市子育て子育て総合支援館	ファミリークッキング	24
春日井市青少年こども部保育課 上八田保育園	食育の日、歯磨き指導日	
春日井市青少年こども部保育課牛山保育園	野菜の栽培・収穫体験及び給食での提供・実食	21
春日井市青少年子ども部保育課追進保育園	食育	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
春日井市青少年こども部保育課高座保育園	野菜作り	
春日井市青少年こども部保育課坂下北保育園、尾張中央農業協同組合明知支店	JA ふれあい農園	
春日井市青少年こども部保育課坂下南保育園	夏野菜の栽培、収穫と地域交流で芋ほり体験 異年齢会食	
春日井市青少年子ども部保育課下津保育園	収穫物を食べよう！	
春日井市青少年子ども部保育課神領保育園	野菜等の栽培・収穫	
春日井市青少年こども部保育課第三保育園	野菜の栽培・収穫（夏・冬野菜）	
春日井市青少年こども部保育課第二保育園	野菜作り・今日の給食	
春日井市青少年こども部保育課玉川保育園	野菜の栽培・収穫、地域交流	
春日井市青少年子ども部保育課藤山台保育園	食育 ～楽しい野菜づくり～	
蒲郡市	蒲郡市子ども農業教室	
刈谷市	地元の食材をつかって親子で作ろう！『元気もりもり食まるスープ～食まる5人をそろえよう～』コンテスト	
	親子農業体験教室・親子農作物収穫体験教室	
刈谷市立旭幼稚園	大根栽培を通して食の楽しさを感じる ～4歳児～	
刈谷市立富士松北保育園	刈谷市の特産品の大き根を育て、みんなで食べよう	20
刈谷市立富士松南保育園	自分で作った野菜を食べてみよう	
刈谷市立双葉幼稚園	親子さつまいも栽培	
北名古屋	野菜の栽培とクッキング	21
	いきいき農業塾	
清須市	食事への興味、関心	
	保育園さつまいも苗植え収穫体験	
	保育園宮重大根収穫体験	
	親子料理教室	
	小学校宮重大根栽培収穫体験	
	中学生土田かぼちゃ料理教室	
	レジャー農園、市民農園	
農業体験塾		
公益財団法人愛知県学校給食会	親子食育体験教室	23
幸田町	親子農業体験教室	
幸田町食育推進会議・部会	子ども食育体験教室	27

取組主体、団体名	取組名称	ページ
幸田町青年農業会議	夏休み子ども農業体験教室	
江南市（保健センター）	親と子の栄養教室	24
瀬戸市	さつまいものつるさし・さつま芋堀り・クッキング保育“大学芋作り”	
武豊町農業委員会	さつまいも作り体験	
東郷町	東郷町ふるさと農園	
東郷町食生活改善推進員	ランチルーム活用事業（調理体感）「わくわくクッキング」	20
東郷町立中部保育園	野菜の栽培	
東郷町立和合保育園	お米作りを体験しよう	
豊川市	「おいでん祭食育コーナー」の実施	
	「食育ツアー」の開催	26
豊橋田原広域農業推進会議	どうまい！農産物堪能ツアー	22
長久手市	朝食づくり講座	
西尾市	お魚博士になろう！親子お魚教室	
	取組の名称 魚をみて・さわって・さばいて食べよう！親子で魚食教室	
	米づくり体験授業	
	僕・私が作る！アイデア朝ごはんコンテスト	
	親子で稲刈り体験とおにぎらず・稲わらリースをつくらう！	
	もっと地元応援！食育応援企画 スギ薬局と道の駅との連携事業	
半田市立 岩滑こども園	お米作っておにぎりパーティー	
半田市（乙川児童センター、有脇児童館、亀崎児童センター、成岩児童センター）	ヤクルト出前授業	19
碧南市社会福祉協議会 新川保育園	もぎとり体験（じゃがいも・たまねぎ）	
碧南市社会福祉協議会 西端保育園	夏野菜を育てよう	
碧南市 二葉保育園	野菜の栽培	
碧南市 第2へきなん保育園	米・野菜を育てる	
碧南市立築山保育園	保育園で育てた野菜をみんなで食べよう	
碧南市立天道保育園	栽培と収穫の喜びを経験し、実際に食べることで食への関心を深める	
碧南市立日進保育園	親子クッキング（おはぎを作ろう）	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
碧南市立鷺塚保育園	食物に興味・関心をもつ	
渥美半島の農産物PR団体「ベジエール渥美」	親子で体験 野菜収穫&スイーツ教室	22
美浜町、株式会社昭和、美浜町食生活バランス研究会、愛知県知多農林水産事務所	親子お魚教室とお魚料理教室	23
日本の食文化や郷土料理等の理解と継承		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	食農教育研修会への参加	
愛知県園芸農産課	第7回愛知県茶会	
愛知県教育委員会健康学習室	愛知を食べる学校給食の日	28
愛知県国公立幼稚園・こども園長会 (西尾市立鶴城幼稚園)	学校給食の手順やマナーを知り、楽しく食べよう。	
愛知県農業協同組合中央会	栄養教諭・学校栄養職員を対象とした食農教育研修会	28
大口町立北保育園	食事のマナー、だし、五味について	
大治町	生産者と児童生徒の交流	
岡崎市	食文化の保護・継承のための調理体験等の実施	30
	地域の魅力再発見食育推進事業(食文化の保護・継承のための取組支援)	
尾張旭市	広報おわりあさひでの「押し寿司」に関する特集	
	農施講座「米粉ピザ作り」「いちじくジャム作り」等の開催	
春日井市青少年こども部保育課 勝川北部保育園	乳幼児への食育指導	
春日井市青少年こども部保育課 外之原保育園	行事食の展示	
春日井市青少年こども部保育課出川保育園	給食における基本的マナーを身につけよう	27
刈谷市教育委員会学校給食センター	刈谷市産の食材を使用した献立の実施	
清須市	人間関係とマナー	
	親子宮重大根収穫体験	
	食育まつり	
公益財団法人愛知県学校給食会	地場産物料理講習会	29
	郷土料理講習会	
小牧市、小牧市蔬菜研究会	地元産野菜の販売	

取組主体、団体名	取組名称	ページ
新城市	クッキング教室（おせち料理づくり教室）	29
瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会	学校給食への地場食材利用拡大	
知立市	市民対象の調理実習	
武豊町家庭推進教育協議会	田んぼの教育	
西尾市	地産地消料理教室	
	取組の名称 子育て世代「うどんづくりに挑戦！」託児付き	30
農村輝きネット・あいち	「うどん打ち体験会」で親子に指導	6
扶桑町守口大根漬物組合、 株式会社扶桑守口食品、扶桑町	守口大根収穫体験及び粕漬け体験学習	30
弥富市	地元の旬を味わう和食給食の日	



食を通じて環境に優しい暮らしを築くために

食生活における環境への配慮の徹底

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県環境活動推進課	エコアクション推進フェアの開催	32
	環境学習副読本「わたしたちと環境」の作成・配布	
愛知県環境活動推進課、企業、環境配慮団体	東海三県一市グリーン購入キャンペーン	
愛知県資源循環推進課	食品ロス削減キャンペーン	
岡崎市	地域の魅力再発見食育推進事業（食品ロス削減に向けた取組）	
尾張旭市	家庭用生ごみ処理機等購入補助	
	3キリ運動	
	3010 運動の推進	
	エコ・クッキング教室	
刈谷市	取組の名称 親子で作ろう！エコ・クッキング講座	
食育推進ボランティアグループ「ハピ食」	おから味噌づくりで食品ロスを減らそう	32
瀬戸市	「食べ残し探検バスツアー！豚さんのご飯ができるまで」開催	31
長久手市	親子エコ・クッキング教室	

農林水産業への理解と地産地消の一層の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛西市農畜産業振興会	愛西市アグリぐるぐるスクール	
愛知県園芸農産課	小麦「きぬあかり」、「ゆめあかり」の普及推進	
愛知県農業振興課	食と花の街道認定事業	
	産地直売所の交流機能強化を推進	
愛知県農地計画課	弥富市三ツ又池釣り大会	
	ええじゃないか豊橋まちなかマルシェ	33
	豊川用水通水 50 周年記念「通水の日」イベント	
	あいちの農業用水展	
あいち尾東農業協同組合、尾張旭市	農地・水・環境のつどい	
	田んぼアート	
安城市	市役所ロビーでの特産品販売	
	食育・農業プロモーション映像制作	33

取組主体、団体名	取組名称	ページ
安城市農畜産物特産品協議会	取組の名称 産学官連携事業 安城産チンゲン菜を用いたレシピ開発と普及活動	
蒲郡市、愛知学泉大学	おいしい魚料理教室	
公益財団法人愛知県学校給食会	親子工場見学会	34
西尾市	西尾のおいしさ発見！地産地消料理教室	
半田市板山池田の農地を守る会	どろんこアカデミー	
豊川市	「とよかわ農業市」	
豊橋地域地方卸売市場研究協議会、豊橋市、株式会社サイエンス・クリエイト	地元の“おいしい”が大集合！「豊橋市場まつり」	34
農林水産業や食品産業における環境への配慮の徹底		
取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県資源循環推進課	多量排出事業者による産業廃棄物処理計画書の作成	
愛知県水産課	県内における資源管理の促進	
東郷町	フードドライブ	
長久手市、長久手市社会福祉協議会	フードドライブ～ご家庭に眠っている食品大募集！～	35
日本労働組合総連合会愛知県連合会	フードドライブ活動	35



食育を支える取組

食育に係る人材の育成と活動の充実

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	学校で使用する食育教材「あいちをたべよう（CD）」の作成	37
愛知県漁業士協議会	料理講習会による魚食普及活動	
愛知県子育て支援課	保育士等キャリアアップ研修	
愛知県食育消費流通課	地域食育推進ボランティア研修交流会の開催	
安城市	「ごはんをたべよう」チラシ作成・配布	37
岩倉市	岩倉市食の健康づくり推進員研修会	
尾張旭市	尾張旭市健康づくり食生活改善推進員養成講座	
清須市	望ましい食習慣	
	食生活改善推進員再教育事業	36
西尾市	食育啓発用クリアファイルの作成	

関係者の役割分担とネットワークの充実

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県食育消費流通課	イベントでの食育推進ボランティアへの活動支援	
稲沢市	食生活改善推進員活動支援	38
岩倉市、岩倉市食の健康づくり推進員、保健推進員	保健推進員活動における栄養教室	
岩倉市健康づくり推進協議会	健康フェア（市民ふれ愛まつり内）	38
株式会社中日新聞社	食育記事掲載	
小牧市	いきいきこまき（食育ブース）	

いいともあいち運動の推進

取組主体、団体名	取組名称	ページ
愛知県農林水産部食育消費流通課	いいともあいち運動シンボルマークの貼付促進	39
岡崎市	地域の魅力再発見食育推進事業（食育推進検討会の開催）	

V 食育推進に関する問合せ先

◎愛知県

名 称	電話・ファクシ	電子メール・URL
農業水産局農政部 食育消費流通課 (総合窓口、農林水産関係)	TEL 052-954-6396 FAX 052-954-6940	E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp URL https://www.pref.aichi.jp/shokuiku
保健医療局健康医務部 医療計画課 (健康福祉関係)	TEL 052-954-6265 FAX 052-953-6367	E-mail iryofukushi@pref.aichi.lg.jp URL https://www.pref.aichi.jp/soshiki/iryofukushi
教育委員会事務局学習教育部 保健体育課 (教育関係)	TEL 052-954-6839 FAX 052-954-6965	E-mail kenkogakushu@pref.aichi.lg.jp URL https://www.pref.aichi.jp/kyoiku/sports/index.html

◎関係団体等

名 称	電 話	URL 等
愛知県栄養教諭・学校栄養職員研究協議会	—	http://www.aichi-ek.com/
愛知県漁業協同組合連合会	052-971-3501	
愛知県経営者協会	052-221-1931	http://www.aikeikyo.com/
愛知県国公立幼稚園・こども園長会	052-961-5506	(問合せ先 名古屋市立第一幼稚園)
愛知県小中学校 PTA 連絡協議会	052-251-8820	http://www.aichi-syoucyuu-p.com/
愛知県小中学校長会	052-261-8152	http://aikochou.ec-net.jp/
愛知県食生活改善推進員連絡協議会	052-954-6271	(問合せ先 県健康対策課内)
愛知県農業協同組合中央会	052-951-6940	http://www.chu.aichi-ja.or.jp/
愛知県農業経営士協会	052-954-6413	(問合せ先 県農業経営課内)
愛知県酪農農業協同組合	0564-53-2450	
愛知消費者協会	052-962-2530	
一般社団法人愛知県歯科医師会	052-962-8020	http://www.aichi8020.net/
一般社団法人愛知県調理師会	052-913-5271	http://kenaicho.la.cocan.jp/
一般社団法人愛知県薬剤師会	052-231-2261	http://www.apha.jp/
公益財団法人愛知県学校給食会	0562-92-3161	http://aigaku.org/
公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団	0562-82-0205	http://www.ahv.pref.aichi.jp/ahpf/index.htm
公益社団法人愛知県医師会	052-241-4151	http://www.aichi.med.or.jp/
公益社団法人愛知県栄養士会	052-332-1113	http://www.aichiken-eiyoushikai.or.jp
社会福祉法人愛知県社会福祉協議会保育部会	052-212-5509	http://www.aichi-fukushi.or.jp/
生活協同組合コープあいち	052-703-1501	http://www.coop-aichi.jp/
日本チェーンストア協会中部支部	0587-24-8093	(事務局 コニエ株式会社内)
日本労働組合総連合会愛知県連合会	052-684-0005	http://www.rengo-aichi.or.jp/
農村輝きネット・あいち	052-954-6409	(問合せ先 県農業経営課内)

愛知県食育推進会議

事務局 愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6396 (ダイヤルイン) E-mail shokuiku@pref.aichi.lg.jp

「食育ネットあいち」ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/shokuiku/shokuikunet/index.html>

デザイン/愛知県立芸術大学 佐藤直木研究室



2019年版



Aichi Food Education 2019